

## 老人の介護行動に関する研究

宗 像 恒 次\*

高 橋 博 子\*\*

中 島 紀 恵 子\*\*\*

~~~~~<内 容>~~~~~

- I 調査研究の枠組み
  - II 調査結果の概要
  - III 介護行動モデルと重回帰分析による検証
  - IV ま と め
- ~~~~~

### I 調査研究の枠組み

#### 1 はじめに

わが国における平均寿命の飛躍的伸長は、高齢者自身に対し、長い老化段階に対応する自立意識を喚起しているが、同時に、高齢者をとりまく家族・親族に対しても、老親扶養の責任において、長期化する老年期のさまざまな老化段階に対応する多様な介護行動を要請するものであろう。

長い人生を一生懸命歩き続けてきた人間が、いずれ避けがたい人生の終末に向かう時、幼児期にうける母親の世話のように、心理的に暖かい介護を受け得るかどうか、高齢化社会へ向けての大き

い課題といえよう。

ところで、看護従事者を含めて保健福祉従事者は、このように老人の看護・介護が期待されている家族等の(施設利用も含めた)自立的なあり方を援助するものとして役割期待されつつある。最近、市町村、病院・診療所(一部)の看護従事者が老人家庭を訪れ、他の保健福祉従事者と連携しながらも、あらゆる疾病段階の予防面における看護的援助を行ないつつある。このような背景の中で、援助をより有効なものにするため、老人介護を行なう対象家族の理解が重要な課題となり、現在この面での理論的な検討が重要な課題となっている。

そこで、本調査研究は、生活構造論および介護行動論を援用し、老人介護を担う家族(特に介護者)の介護行動に影響を与える要因に関して作

\* むなかたつねつぐ／国立精神衛生研究所社会精神衛生部

\*\* たかはしひろこ／東京都立大学人文学部社会学研究室

\*\*\* なかじまきえこ／千葉大学看護学部基礎保健学講座

業仮説をたて、それを検証し、保健福祉従事者による対象家族の理解を助ける理論づくりをめざし、その1つの試みを行なおうとした。

## 2 調査研究の方法

本調査研究は、前述の目的から、老人の介護行動に影響を与える要因の解明と、それをふまえた介護行動の動態を明らかにするため、60歳以上の老人と同居する介護者の意識と実態を調査し、その結果を団地部と農村部とで比較したり、家族類型別に比較する方法をとっているが、まず調査の対象と方法について言及してみよう。

### 1) 調査の対象と方法

#### ① 調査対象

60歳以上の老人と同居する介護者（男女を問わず、年齢を問わず、みずから「老人の世話をしている」と認知する者）。

#### ② 調査地域

I 都市老人の一典型たる「団地に同居する老人」のサンプルとして、千葉県北部のH団地内賃貸住宅地域。

II 伝統的同居形態をとる農村同居老人のサンプルとして、千葉県の専業農家70%以上(露

地栽培を主とする)のY町純農村地域。

以上の2地域を調査地域として選定した。

#### ③ 調査期日

I 団地老人介護者意識調査については、昭和53年6月

II 農村老人介護者意識調査については、昭和53年10月

#### ④ 調査方法

市町村で把握されている60歳以上老人の同居世帯に対し、老人1人につき1調査票を配布し、とめおき調査を行なった。

#### ⑤ 調査票回収結果

社会変動の影響をうけた老人世帯の1つの典型として調査した団地の老人介護者調査、Iの有効回収票は156票であった。また、日本の伝統的同居家族の原型を示すものとして調査した農村の老人介護調査IIの有効回収票は122票であった。

ただし、今回の調査は老人1人につきその介護者に対して行なったので、対象世帯に2人以上の老人がいる場合、調査票は複数回収された。しかし、複数老人世帯における調査票は、被介護者老人と介護者の関係の認定が複雑に入りこむので不備票も多く、また同1人物が老人と介護者に二重集計されることにも問題を残すため、1世帯1人

別表 I

|       |        | 老人1人の世帯          | 老人2人世帯          | 老人3人世帯        | 計                 |
|-------|--------|------------------|-----------------|---------------|-------------------|
| I 団地  | 調査完了世帯 | 116世帯<br>(78.9%) | 28世帯<br>(19.0%) | 3世帯<br>(2.0%) | 147世帯<br>(100.0%) |
|       | 老人延人数  | 116人             | 56人             | 9人            | 181人              |
|       | 有効回収票  | 116票             | 37票             | 3票            | 156票              |
|       | 分析集計票  | 116票             | 28票             | 3票            | 147票              |
| II 農村 | 調査完了世帯 | 60世帯<br>(63.2%)  | 33世帯<br>(34.7%) | 2世帯<br>(2.1%) | 95世帯<br>(100.0%)  |
|       | 老人延人数  | 60人              | 66人             | 6人            | 132人              |
|       | 有効回収票  | 60票              | 58票             | 4票            | 122票              |
|       | 分析集計票  | 60票              | 33票             | 2票            | 95票               |

の老人票を次の基準で選択し、集計を行なった。まず同世帯の複数老人票を 1. 「より病弱な老人」、2. 「より高齢な老人」、3. 「同じ健康状態で同じ年齢の場合は、男性」をという 3 基準により順位づけ、若番優先に 1 世帯 1 人の老人を選び、その老人に対する介護者の意識票を集計した。調査完了世帯数は、Ⅰ. 団地 147 世帯、Ⅱ. 農村 95 世帯であった。ゆえに、今回集計分析した調査票は、それぞれ団地 147 票、農村 95 票である。

ちなみに、対象世帯内の老人数、有効回収票と集計分析票との関係は別表Ⅰの通りである。

## 2) 集計および分析の方法

調査結果は団地、農村別、家族類型別の 1 次元および 2 次元集計をし、それぞれを比較し個性記述した。次に、名義尺度、順位尺度で表わされている調査結果をダミー変数化 (1—0 変換) し、重回帰分析を行ない、客観的な手法で因果推論を行なおうとした。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 調査対象者およびその世帯の基本的属性

今回の調査対象者は、老人の世話をする介護者であるが、常に間に介在する老人の属性が、介護者にも影響を与えるという配慮から、集計は、調査対象介護者と、対応する老人に対しても平行して行ない、力動的に分析するようつとめた。以下は調査対象介護者と老人の世帯においてみられる基本的属性の地域比較である。

#### 1) 年齢別構成

表 2—1 は、意識調査対象である介護者、および被介護者である老人の年齢層分布における団地と農村の地域比較を示している。団地老人世帯においては、介護者は 30 歳代と 40 歳代への集中がみられ、全対象の 4 分の 3 以上 (76%) を占めている。それに対し、農村老人世帯における介護者の年齢は、もっと高年齢層へひろがりをみせ、30 代から 50 代にかけて 78% という分散をみせている。老人の年齢層分布においては、介護者のそれと逆の傾向をみせていることが注目される。すなわち、団地老人は 70 歳層にモード (57%) があ

るのに対し、農村老人はもっと若い 60 歳層にモード (48%) をみせていることである。この「団地老人同居世帯における介護者年齢層の、農村より若い世代への集中と、老人年齢層の、農村より高年代へのかたより」は、そこに何らかの要因が考えられる。

さらに、団地という地域における調査対象世帯の位置づけをみるために、世帯主年齢について団地老人同居世帯と、居住地区 (H 団地賃貸住宅地区) 全域とを比較してみると、次のようなずれが認められた。すなわち、H 賃貸団地全世帯 (3, 841) の世帯主年齢は 30 歳代に 6 割が集中し、50 歳以上の世帯は 6% にすぎない (昭和 52 年 6 月現在) [中島紀恵子他「団地における医療ニーズの基盤」『千葉大学看護学部紀要』, No. 1, 1979, pp. 13~17 参照]。それに対し、団地老人同居世帯では、50 歳以上の世帯主が、3 割以上 (31%) を占め、地域内での特異な年齢集団であることを示している。

#### 2) 世帯員数

団地老人同居世帯の平均世帯員数は 4.15 人、モードは 5 人世帯 (37%) にある。6 人以上の世

表2-1 年齢別構成(介護者・老人・世帯主) 地域比較

|                     |           | 20~29歳        | 30~39           | 40~49         | 50~59        | 60~64        | 65~69        | 70~74        | 75~79        | 80~84        | 85以上       | 50歳未満         | 50歳以上        | 合計               |                |
|---------------------|-----------|---------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|--------------|------------------|----------------|
| 意識調査対象<br>介護者<br>年齢 | I 団地老人世帯  | 4.8<br>(7)    | 42.9<br>(63)    | 32.7<br>(48)  | 9.5<br>(14)  | 5.4<br>(8)   | 3.4<br>(5)   | 1.4<br>(2)   | —            | —            | —          | 80.3<br>(118) | 19.7<br>(29) | 100.0<br>(147)   |                |
|                     | II 農村老人世帯 | 13.7<br>(13)  | 23.2<br>(22)    | 27.4<br>(26)  | 27.4<br>(26) | 6.3<br>(6)   | 1.1<br>(1)   | —            | 1.1<br>(1)   | —            | —          | 64.2<br>(61)  | 35.8<br>(34) | 100.0<br>(95)    |                |
|                     |           | 50.6          |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
|                     |           | 78.0%         |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
| 老人年齢                | I 団地老人世帯  | —             | —               | —             | —            | 5.4<br>(8)   | 23.8<br>(35) | 29.3<br>(43) | 27.2<br>(40) | 11.6<br>(17) | 2.7<br>(4) | 29.2          | 29.2%        | 70.8%            | 100.0<br>(147) |
|                     | II 農村老人世帯 | —             | —               | —             | —            | 29.5<br>(28) | 18.9<br>(18) | 14.7<br>(14) | 20.0<br>(19) | 10.5<br>(10) | 6.3<br>(6) | 48.4          | 48.4         | 51.5             | 100.0<br>(95)  |
|                     |           | 48.4          |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
|                     |           | 34.7          |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
| 世帯主年齢               | I 団地老人世帯  | 2.7<br>(4)    | 32.7<br>(48)    | 33.3<br>(49)  | 9.5<br>(14)  | 2.7<br>(4)   | 8.8<br>(13)  | 8.8<br>(13)  | 0.7<br>(1)   | —            | —          | 68.7%         | 31.3%        | 100.0<br>(147)   |                |
|                     | II 農村老人世帯 | 5.3<br>(5)    | 20.0<br>(19)    | 27.4<br>(26)  | 20.0<br>(19) | 9.5<br>(9)   | 12.6<br>(12) | 3.2<br>(3)   | 2.1<br>(2)   | —            | —          | 52.7          | 47.3         | 100.0<br>(95)    |                |
|                     | 団地全世帯母集団  | 11.1<br>(425) | 59.2<br>(2,276) | 23.6<br>(908) | 4.0<br>(153) | 2.1<br>(80)  | 2.1<br>(80)  | —            | —            | —            | —          | 93.9          | 6.1          | 100.0<br>(3,841) |                |
|                     |           | 47.4          |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
|                     |           | 67.4          |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |
|                     |           | [60以上] 21.7   |                 |               |              |              |              |              |              |              |            |               |              |                  |                |

団地全世帯についての資料は右の文献を参照した。中島紀恵子他「団地における医療ニーズの基盤」『千葉大学看護学部紀要』Vol.1, 1979, 3, pp.13~17.

老人の介護行動に関する研究

表2-2 世帯員数，団地・農村比較

|      |           | 1人          | 2人           | 3人            | 4人             | 5人            | 6人           | 7人           | 8人         | 9人以上        | N.A        | 計                | 平均    |
|------|-----------|-------------|--------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|------------------|-------|
| 世帯員数 | I 団地老人世帯  | —           | 16.3<br>(24) | 15.0<br>(22)  | 21.1<br>(31)   | 36.7<br>(54)  | 7.5<br>(11)  | 2.7<br>(4)   | 0.7<br>(1) | —           | —          | 100.0<br>(147)   | 4.15人 |
|      | II 農村老人世帯 | —           | 12.6<br>(12) | 9.5<br>(9)    | 15.8<br>(15)   | 14.7<br>(14)  | 26.3<br>(25) | 15.8<br>(15) | 5.3<br>(5) | —           | —          | 100.0<br>(95)    |       |
|      | 団地全世帯     | 0.3<br>(11) | 7.9<br>(304) | 23.4<br>(899) | 53.5<br>(2055) | 12.9<br>(496) | 1.6<br>(63)  | 0.1<br>(5)   | 0.1<br>(4) | 0.03<br>(1) | 0.1<br>(3) | 100.0<br>(3,841) |       |

表2-3 室数，団地・農村比較

|    |           | 1室         | 2室           | 3室            | 4室           | 5室           | 6室           | 7室         | 8室         | N.A        | 計              |
|----|-----------|------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 室数 | I 団地老人世帯  | 2.0<br>(3) | 10.2<br>(15) | 81.6<br>(120) | 5.4<br>(8)   | —            | —            | —          | —          | 0.7<br>(1) | 100.0<br>(147) |
|    | II 農村老人世帯 | 1.1<br>(1) | 6.3<br>(6)   | 11.6<br>(11)  | 22.1<br>(21) | 27.4<br>(26) | 11.6<br>(11) | 9.5<br>(9) | 4.2<br>(4) | 6.3<br>(6) | 100.0<br>(95)  |

表2-4 家の狭さ意識，団地・農村比較

|              |           | 思う            | 思わない         | N.A        | 計              |
|--------------|-----------|---------------|--------------|------------|----------------|
| 家が狭い<br>と思うか | I 団地老人世帯  | 75.5<br>(111) | 23.8<br>(35) | 0.7<br>(1) | 100.0<br>(147) |
|              | II 農村老人世帯 | 14.7<br>(14)  | 76.8<br>(73) | 8.4<br>(8) | 100.0<br>(95)  |

帯は11%である。それに対し農村老人同居世帯の平均世帯員数は5.01人、モードは6人世帯(26%)にあり、6人以上の世帯は半数近く(47%)を占めている。

老人同居世帯という同じ条件下、この農村と団地の世帯員数の相異はどのような要因によってもたらされるか。まず考えられる1つは、居住密度の問題であろう。表2-2は世帯員数を、表2-3はその媒介変数の1つと考えられる居住空間(室数)の分布を示している。なお、住居に対する介護者の意識もともに掲げた。団地の室数は、3室が8割以上(82%)を占め、家が狭いと思うものは、4分の3以上(76%)にのぼっている。農村の室数は5室が最も多く(27%)、8室までに分布し、家が狭いと思っているものは15%にすぎない。ここに世帯員数が団地老人同居世帯におい

てモードが5人世帯であり、農村では6人世帯であるという1人の差が、大きい住宅事情からのインパクトを示す数字として検出されるのである。

ちなみに、団地全世帯の平均世帯員数は3.8人、モードは4人世帯にあり(54%)、5人以上の世帯は15%にすぎない。半数近く(48%)が5人以上の世帯という団地老人同居世帯が55m<sup>2</sup>、3室平均の団地住宅政策とどうかかわっているか、今後の高齢化社会における都市問題として大きな対策課題であるといえよう。

### 3) 家族形態

世帯員数と関連する変数に家族形態がある。表2-5は、調査対象全世帯を、「老人が、無配偶か、有配偶か」、「同居する子家族の家族形態」により詳しく分類した家族形態を示している。

まず団地老人の8割近く(77%)が無配偶老人

表 2-5(1) 家族形態, 団地・農村比較

| 家族形態                        | I 団地老人世帯 |            | II 農村老人世帯                    |                    |
|-----------------------------|----------|------------|------------------------------|--------------------|
| 無配偶老人と既婚子の夫婦とこどもの家族同居       | M-N      | 44.2 (65)  | 親世代欠損<br>三世代家族<br>61.9% (91) | 24.2 (23)          |
|                             | F-N      | 11.5 (17)  |                              | 4.2 (4)            |
| 無配偶老人と既婚子の夫婦家族同居            | M-C      | 2.0 (3)    | 無配偶老人<br>76.9% (113)         | 1.1 (1)            |
|                             | F-C      | 0.7 (1)    |                              | 2.1 (2)            |
| 無配偶老人と既婚子の欠損家族 (母子世帯, 父子世帯) | M-M      | 2.0 (3)    | 未婚子と同居<br>13.7% (20)         | 2.1 (2)            |
|                             | M-F      | 1.4 (2)    |                              | —                  |
| 無配偶老人と未婚子同居                 | M        | 12.9 (19)  | 6.3 (6)                      | 未婚子と同居<br>6.3% (6) |
| 無配偶老人と他親族同居                 | S-N      | 0.7 (1)    | —                            | —                  |
| 無配偶老人と孫の家族同居                | M-C-N    | 0.7 (1)*   | 四世代<br>1.4% (2)              | *四世代<br>13.7% (13) |
|                             | M-O-N    | 0.7 (1)    |                              |                    |
|                             | F-C-N    | —          |                              |                    |
| 有配偶老人夫婦のみ(子すべて別居)           | C        | 7.5 (11)   | 老年核家族<br>17.7% (26)          | 6.3 (6)            |
| 有配偶老人夫婦と未婚子同居               | N        | 9.5 (14)   |                              | 10.6 (10)          |
| 有配偶老人夫婦と他人の息子同居             | (疑) (N)  | 0.7 (1)    | 有配偶老人<br>23.1% (34)          | —                  |
| 有配偶老人夫婦と既婚子夫婦同居             | C-C      | 2.0 (3)    |                              | 1.1 (1)            |
| 有配偶老人夫婦と子の欠損家族              | C-F      | 0.7 (1)    | 子世代<br>欠損三世代                 | —                  |
|                             | C-M      | 1.4 (2)    |                              | 1.1 (1)            |
| 有配偶老人夫婦と既婚子夫婦と孫同居           | C-N      | 1.4 (2)    | *完全三世代<br>1.4% 家族            | 27.4 (26)          |
| 老人同居世帯計                     |          | (147) 100% |                              | (95) 100.0%        |

[家族形態]

- M-N 母と既婚子核家族同居
- F-N 父と既婚子核家族同居
- M-C 母と既婚子夫婦家族同居
- F-C 父と既婚子夫婦家族同居
- M-M 母と既婚子母子家族同居
- M-F 母と既婚子父子家族同居
- M 母と未婚子同居
- S-N 叔母と既婚子核家族同居
- M-C-N 祖母と子夫婦と孫の核家族同居
- M-O-N 祖母と孫の核家族同居
- C 夫婦家族
- N 夫婦と未婚子の家族
- C-C 親夫婦と子夫婦同居
- C-F 親夫婦と既婚子父子家族同居
- C-M 親夫婦と既婚子母子家族同居
- C-N 親夫婦と子の核家族同居

表 2-5(2)

|        | I 団地老人世帯    | II 農村老人世帯  |
|--------|-------------|------------|
| 無配偶老人計 | 76.9 (113)  | 53.7 (51)  |
| 内訳     | 男子          | 12.2 (18)  |
|        | 女子          | 64.6 (95)  |
| (男:女)  | (16:84)     | (18:82)    |
| 有配偶老人計 | 23.1 (34)   | 46.3 (44)  |
| 合計     | 100.0 (147) | 100.0 (95) |

老人の介護行動に関する研究

表 2-6 同居過程, 団地・農村比較

|              | 結婚から<br>ずっと同居 | 別居のあ<br>り同居 | はじめ同<br>居→別居<br>→同居 | 生まれて<br>からずっと<br>同居 | N. A.  | 計          |
|--------------|---------------|-------------|---------------------|---------------------|--------|------------|
| 同居に<br>いたる過程 |               |             |                     |                     |        |            |
| I 団地老人世帯     | 36.1(53)      | 42.9(63)    | 7.5(11)             | 13.6(20)            | —      | 100.0(147) |
| II 農村老人世帯    | 80.0(76)      | 4.2(4)      | —                   | 14.7(14)            | 1.1(1) | 100.0(95)  |

表 2-7 同居期間, 団地・農村比較

|           | 1~5年     | 6~10年    | 11~20年   | 21~30年   | 31~40年   | 41~56年  | N. A.  | 計          |
|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|--------|------------|
| 同居期間      |          |          |          |          |          |         |        |            |
| I 団地老人世帯  | 24.5(36) | 33.3(49) | 10.9(16) | 8.2(12)  | 14.3(21) | 8.8(13) | —      | 100.0(147) |
| II 農村老人世帯 | 6.3(6)   | 12.6(12) | 21.1(20) | 32.6(31) | 16.8(16) | 9.5(9)  | 1.1(1) | 100.0(95)  |

(男女比 16 : 84) であるのに対し, 農村では半数強 (54%) にすぎない (男女比 18 : 82) ことが注目される。また, 団地老人同居世帯の特徴は, 「無配偶老人と, 既婚子の家族が同居する」家族形態 (62%) に代表されるといえる。それに対し, 農村老人同居世帯の特徴は, 有配偶老人の世帯が半数近く (46%) を占め, それが多世代に重層していることである。いわゆる直系家族のファミリーサイクルに典型的に表われる, 「老親夫婦と既婚子夫婦と孫」が揃って居住する完全三世代家族形態が 27%, 四世代家族 14% を加えると 4 割以上にのぼり, その次に親世代の一方が欠けたところの, 欠損三世代家族が 34% で続いている。ここに農村では, 日本特有の直系家族周期の展開<sup>1)</sup> が生き続けていることが推測されるのである。しかし, 団地老人同居世帯においては, 伝統的完全三世代家族形態 (表中 \* 印) は, わずかに 3 世帯 (2.0%) にすぎず, もはや, 都市, 団地老人世帯においては, 直系家族周期の展開と異なる過程が出現していることを示唆している。

さらに, これまでの家族の発達アプローチでは, 逸脱形態として, 分析対象にとりあげることが少なかったところの, 「60 歳以上の無配偶の母親と

中年の未婚子同居世帯」が, 団地老人同居世帯の 14% にのぼることは, 見落とすことのできない分析対象といえよう。

以上の家族形態の分析から考えられることは, 同じ親世代欠損三世代家族という家族構成を示していても, そこにいたる家族発達過程, および家族制イデオロギーにおいて, 農村と団地ではまったく異なる背景が推測されることである。

ちなみに, 同居にいたる過程と, 同居期間の分析において, 団地と農村では格段の差異を示している (表 2-6, 表 2-7)。すなわち, 農村同居老人世帯では, 直系家族周期の展開を裏付けるように, 結婚からずっと老人と同居している世帯が 8 割である。それに対し, 団地老人世帯では, 結婚からずっと老人と同居しているものは 36% にすぎず, 別居期間を経てから同居したものが 50% にのぼっている。そこに, 団地無配偶老人同居世帯においては, 夫婦家族制イデオロギーからの逸脱ともいえる家族発達過程が考えられるのではなからうか。団地老人同居世帯の同居期間が, 10 年未満のものが 6 割近く (58%) にのぼり, 農村のその 2 割 (19%) と対照的相異を示している。この団地の入居が昭和 43 年 9 月にはじまっていることからみて, 団地の入居を契機に別居から同居に移行した過程が推測されるのである。

1) 森岡清美『家族周期論』, 1973, 培風館, p. 59.

表2-8 職業（主稼得者・老人・介護者），団地・農村比較

|      |           | 農        | 業        | 他の        | 自営     | 常         | 勤      | 臨時・内職      | 無 | 職 | N. A. | 計 |
|------|-----------|----------|----------|-----------|--------|-----------|--------|------------|---|---|-------|---|
| 主稼得者 | I 団地老人世帯  | —        | 10.9(16) | 77.6(114) | 2.7(4) | 6.8(10)   | 2.0(3) | 100.0(147) |   |   |       |   |
|      | II 農村老人世帯 | 76.8(73) | 6.3(6)   | 16.8(16)  | —      | —         | —      | 100.0(95)  |   |   |       |   |
| 老人職業 | I 団地老人世帯  | 0.7(1)   | 1.4(2)   | 6.1(9)    | 4.1(6) | 86.4(127) | 1.4(2) | 100.0(147) |   |   |       |   |
|      | II 農村老人世帯 | 38.9(37) | 5.3(5)   | 1.1(1)    | —      | 54.7(52)  | —      | 100.0(95)  |   |   |       |   |
| 介護者  | I 団地老人世帯  | —        | 3.4(5)   | 38.1(56)  | 5.4(8) | 51.7(76)  | 1.4(2) | 100.0(147) |   |   |       |   |
|      | II 農村老人世帯 | 82.1(78) | 2.1(2)   | 6.3(6)    | 2.1(2) | 7.4(7)    | —      | 100.0(95)  |   |   |       |   |

表2-9 月収（主稼得者・老人・介護者）団地・農村比較

|       |           | 無         | 収入       | 5万未      | 満        | 5~10万未   | 満      | 10~20万未    | 満 | 20万以上 | N. A. | 計 |
|-------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|------------|---|-------|-------|---|
| 主稼得者  | I 団地老人世帯  | —         | 0.7(1)   | 6.8(10)  | 51.0(75) | 38.8(57) | 2.7(4) | 100.0(147) |   |       |       |   |
|       | II 農村老人世帯 | —         | 5.3(5)   | 18.9(18) | 45.3(43) | 30.5(29) | —      | 100.0(95)  |   |       |       |   |
| 老人月収  | I 団地老人世帯  | 69.4(102) | 11.6(17) | 10.9(16) | 4.1(6)   | 2.7(4)   | 1.4(2) | 100.0(147) |   |       |       |   |
|       | II 農村老人世帯 | 67.4(64)  | 13.7(13) | 6.3(6)   | 10.5(10) | 2.1(2)   | —      | 100.0(95)  |   |       |       |   |
| 介護者月収 | I 団地老人世帯  | 46.9(69)  | 4.8(7)   | 7.5(11)  | 25.9(38) | 12.9(19) | 2.0(3) | 100.0(147) |   |       |       |   |
|       | II 農村老人世帯 | 44.2(42)  | 14.7(14) | 14.7(14) | 17.9(17) | 8.4(8)   | —      | 100.0(95)  |   |       |       |   |

表2-10 介護者性

|      |           | 男子       | 女子        | 計          |
|------|-----------|----------|-----------|------------|
| 介護者性 | I 団地老人世帯  | 30.6(45) | 69.4(102) | 100.0(147) |
|      | II 農村老人世帯 | 35.8(34) | 64.2(61)  | 100.0(95)  |

4) 職業，月収

調査対象世帯における職業は表2-8に，月収は表2-9に示される。

主稼得者の職業は，団地では常勤が8割近く(78%)，農村では農業がやはり8割近く(77%)，ともにこの調査客体が都市世帯と純農村世帯の典型サンプルとしての特徴を示している。

老人の職業において，団地老人は無職が9割近く(86%)にのぼるが，農村老人のそれは半数強(55%)にとどまっている。老いてもなお，農業に4割(39%)に従事し，家族内で役割を持ちうる農村環境は，都市老人の居住環境と対照的である。

介護者の職業は，農村において，無職は7%，農業が8割強(82%)である。団地介護者は，無職が半数(52%)を占めるが，4割近く(38%)が常勤である。この介護者の職業上の違いは，急に

老人が発病し，時間を拘束される看護が必要になったとき，介護者意識に大きな差をみせることが推測される。すなわち，職業上の時間が厳しく拘束される常勤介護者において，稼得か，介護か二者択一を迫られる葛藤は大きいものと考えられる。介護代替者を得る見込み(表2-14)においても，「全然代替者のいない」介護者は，農村は4%にすぎないが，団地においては24%にのぼっている。ここに，家族危機に弱い団地介護者世帯の職業構造が析出されている。

月収はやや団地の方が，農村よりも主稼得者において高いが，老人のみについてみれば農村老人の方が収入が多い。団地老人は，家族内の経済的勢力構造の中でも，農村より弱い地位にあることがうかがわれる。

職業，月収の地域比較をよみとるとき，注意し



老人の介護行動に関する研究

表2-11 学歴(介護者・老人・世帯主), 団地・農村比較

|     |           | 非就学    | 小学校卒     | 旧高小・<br>新中卒 | 旧中,<br>新高卒 | 専門<br>大学卒 | N. A.  | 計          |
|-----|-----------|--------|----------|-------------|------------|-----------|--------|------------|
| 介護者 | I 団地老人世帯  | —      | 2.7(4)   | 19.7(29)    | 57.1(84)   | 19.0(28)  | 1.4(2) | 100.0(147) |
|     | II 農村老人世帯 | —      | 11.6(11) | 47.4(45)    | 37.9(36)   | 3.2(3)    | —      | 100.0(95)  |
| 老人  | I 団地老人世帯  | 3.4(5) | 49.0(72) | 21.8(32)    | 16.3(24)   | 8.2(12)   | 1.4(2) | 100.0(147) |
|     | II 農村老人世帯 | 5.3(5) | 51.6(49) | 33.7(32)    | 6.3(6)     | 3.2(3)    | —      | 100.0(95)  |
| 世帯主 | I 団地老人世帯  | —      | 3.4(5)   | 19.7(29)    | 44.2(65)   | 31.3(46)  | 1.4(2) | 100.0(147) |
|     | II 農村老人世帯 | 1.1(1) | 14.7(14) | 47.4(45)    | 33.7(32)   | 3.2(3)    | —      | 100.0(95)  |

なければならないことは、介護者についての性分布である。表2-10に示すごとく、団地、農村ともに3割以上(団地31%, 農村36%)の男性が、介護者と自認して回答している。ここに、介護者の性分布は、調査客体による、「老人の世話」という介護の解釈が「経済的扶養」と「身辺介護」の2通りに理解されたことを推測させる。しかし一方、視点を、扶養責任意識というところにおけば、「老人に対する世話の責任を心理的に最も感じているもの」が介護者と自任して回答したと考えれば性差も有意なものと解釈しうるであろう。とにかく、この調査客体による「老人の世話」のとらえ方の多様性と介護者の性分布を考慮しつつ分析を進めねばなるまい。

5) 学 歴

表2-11は調査世帯における介護者・老人・世帯主の学歴を示している。老人の学歴の地域差は少なく、やや団地が高学歴である。介護者においては地域差大きく、団地は、高卒以上が76%であるのに対し、農村は41%にとどまっている。しかしこれは、単なる地域差のみならず、両者の年齢層の違いからくる要因が考えられよう。すなわち、その年齢差の時間内におけるわが国の急激な高学歴化の社会変動である。この学歴にみる世代差を含む地域差が、介護意識へも影響するであろうことは十分考えられることである。

6) 基本的属性まとめ

以上の属性分析より次のような調査客体像が描かれる。

まず、II. 農村老人介護者意識調査における調査客体は、現在もなお、いわゆる伝統的日本の直系家族制家族の特徴を示している、すなわち、結婚よりずっと親と同居して現在にいたる、直系家族周期の展開過程にある老人同居世帯であり、職業も老人を含め家族内労働による農業自営三世帯世帯である。

それに対し、I. 団地老人介護者世帯は、同じ老人同居という居住形態を示している、はじめ、または途中、親と別居という過程を経た後、現在同居にいたった世帯が多いという大きい特徴をもっている。すなわち、団地における老人同居世帯はその8割近くが無配偶の老人との同居世帯であるが、それは「ずっと同居していた親夫婦の片方の死亡」というファミリーライフサイクルの発達により、直系家族制周期に出現した欠損三世帯家族(N→N-N→C-N $\begin{matrix} \swarrow \\ \searrow \end{matrix} \begin{matrix} M-N \\ F-N \end{matrix}$ )でなく、何らかの要因により別居の夫婦家族制周期から同居への展開過程を背景にもつ老人同居世帯が多い。

それゆえに、年齢は、農村におけるより、より高齢の老人が、より若年の介護者と同居し、世帯員数は5人が最も多く、そのほとんどが3室以下の居住空間に住む。職業は、主稼得者の8割が常勤であり、老人の9割は無職という、典型的都市雇用社会の調査客体である。以下の調査結果は、

上のような基本的属性において異なる農村と団地の老人同居世帯が介護の実態と意識において、いかなる差異をみせるか。いわば、農村老人同居世帯を1つの原点として、家族変動下、介護者側からのノルム（規範）とモラル（志気）の動態を、団地老人世帯における乖離より探ろうとするものである。

## 2 介護の実態と介護意識の調査結果

### 1) 調査項目

今回の介護意識調査における調査項目は、2つの視座より設定した。

1つは、介護者の介護行動に関する動機、意識に関するもの、1つは、その介護意識を生ぜしめたところの、介護環境の実態把握に関するものである。

さらに、両者を次の項目に分けて調査を行なった。

まず介護行動に関する項目は、いかにして介護者の介護継続意欲モラルが形成されるか、その構造を類推する次の8項目を設定した。

- (1) 老人介護における社会的役割規範意識
- (2) 老人に対する介護の必要性の認識
- (3) みずからの介護が適切かどうかの評価
- (4) 老人と介護者間の人間関係
- (5) 老人介護に対するやりがい感
- (6) 老人介護における犠牲感
- (7) 終末ケアにおける責任感
- (8) 老人介護継続意欲と今後の見通し

介護環境の実態把握に関しては、介護者をとりまく社会資源、介護対象老人の身体状況、そして老人同居世帯をめぐり介護援助のネットワークの3局面より次の各項目を中心に調査を行なった。

- (1) 介護対象老人の健康状態
- (2) 老人の日常生活における身体状況

- (3) 介護者自身の健康状態
- (4) 介護者が病気になったときの代替要員
- (5) かかりつけの医師と入院施設
- (6) 老人介護についての相談者と情報源
- (7) いざというときの介護援助ネットワーク
- (8) 介護の場としての住居の狭さ
- (9) 介護の経済的資源として家計の苦しさ
- (10) 介護者自身の老後不安感
- (11) 老人介護に要する時間

### 2) 分析軸

#### ① 地域比較の分析軸

基礎属性における分析と同じように、まず団地老人同居世帯における介護者が、農村老人同居世帯における介護者と、いかに異なる介護環境と意識をもっているか、地域比較の分析軸により、調査結果をマクロにおさえる。

#### ② 介護者と老人続柄ダイアド別家族類型の分析軸

「介護意識を最も左右する要因は、介護者と老人の人間関係である」という経験的に想定される仮設命題を検証するために、家族形態のみならず、老人と介護者の続柄というダイアド関係（二者関係）を視座に組みこんだ家族類型を分析軸に設定した。回収された団地老人同居世帯の調査票の家族形態分析（表2-5）と老人と介護者の続柄分析をクロスして分類された上記の分析軸は別表Ⅱの16家族類型である。

以上のダイアド別家族類型による調査対象の分布は、世帯員数分布とクロスして、表2-12に示した。

### 3) 分析結果

#### ① 介護者をとりまく状況

表2-13は、介護者に関する状況の分析である。「介護者の健康状態」は、団地・農村ともに、9

老人の介護行動に関する研究

表2-12 [介護者と老人の続柄ダイヤドによる] 家族類型別世帯員数

| 家族類型 | 家族形態 | 介護者と老人の続柄 | 団地老人同居世帯 |      |      |      |     |     |     |       |       |      | 農村老人同居世帯 |      |      |      |      |     |       |       |  |  |
|------|------|-----------|----------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|------|----------|------|------|------|------|-----|-------|-------|--|--|
|      |      |           | 世帯員数     |      |      |      |     | 合計  | %   | 世帯員数  |       |      |          |      | 合計   | %    |      |     |       |       |  |  |
|      |      |           | 2人       | 3人   | 4人   | 5人   | 6人  |     |     | 7人    | 8人    | 2人   | 3人       | 4人   |      |      | 5人   | 6人  | 7人    | 8人    |  |  |
| 01   | M-N  | 夫の母-妻     | 1        | 11   | 4    | 18   | 4   | 1   | 1   | 1     | 33    | 22.4 | 1        | 4    | 2    | 5    | 2    | 1   | 14    | 14.7  |  |  |
| 02   | M-N  | 妻の母-妻     | 1        | 4    | 2    | 11   | 2   | 1   | 1   | 7     | 17    | 11.6 | 1        | 1    | 1    | 3    | 1    | 1   | 3     | 3.2   |  |  |
| 03   | M-N  | 夫の母-夫     | 1        | 1    | 2    | 12   | 2   | 1   | 1   | 15    | 10.2  | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 6     | 6.3   |  |  |
| 04   | F-N  | 夫の父-夫     | 1        | 3    | 1    | 4    | 1   | 1   | 1   | 8     | 5.4   | 1    | 2        | 2    | 1    | 1    | 1    | 1   | 4     | 4.2   |  |  |
| 05   | F-N  | 夫の父-妻     | 1        | 1    | 1    | 6    | 1   | 1   | 1   | 9     | 6.1   | 1    | 2        | 2    | 1    | 1    | 1    | 1   | 4     | 4.2   |  |  |
| 06   | M-F  | 夫の母-妻     | 5        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 5     | 3.4   | 1    | 2        | 2    | 1    | 1    | 1    | 2   | 2     | 2.1   |  |  |
| 07   | M-M  | 妻の母-妻     | 10       | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 12    | 8.2   | 4    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 4     | 4.2   |  |  |
| 08   | M    | 母-未婚男子    | 3        | 4    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 7     | 4.8   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 2     | 2.1   |  |  |
| 09   | M-C  | 妻の母-妻     | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 4     | 2.7   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 3     | 3.2   |  |  |
|      | F-C  | 夫の父-夫     | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 4     | 2.7   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 3     | 3.2   |  |  |
| 小計   |      | 無配偶老人     | 13       | 14   | 10   | 51   | 10  | 2   | 1   | 110   | 74.8  | 6    | 3        | 11   | 9    | 7    | 2    | 38  | 40.0  |       |  |  |
| 10   | N    | 父-未婚子     | 1        | 3    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 7     | 4.8   | 1    | 3        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 3     | 3.2   |  |  |
| 11   | N    | 夫-妻       | 1        | 4    | 3    | 1    | 1   | 1   | 1   | 7     | 4.8   | 1    | 2        | 3    | 2    | 1    | 1    | 1   | 7     | 7.4   |  |  |
| 12   | C    | 夫-妻       | 11       | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 11    | 7.5   | 6    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 6     | 5.3   |  |  |
| 13   | C-N  | 妻-夫       | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 5     | 3.4   | 1    | 1        | 1    | 2    | 14   | 8    | 2   | 27    | 28.4  |  |  |
| 14   | C-C  | 夫の父-妻     | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 3     | 2.0   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 1     | 1.1   |  |  |
| 小計   |      | 有配偶老人     | 11       | 7    | 10   | 2    | 1   | 1   | 1   | 33    | 22.4  | 6    | 5        | 4    | 5    | 14   | 8    | 2   | 44    | 46.3  |  |  |
| 15   | 他親族  | 老人-他親族    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 2     | 1.4   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 1     | 1     |  |  |
| 16   | 四世代  | 祖母-孫      | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 2     | 1.4   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 13    | 13.7  |  |  |
| 小計   |      | 介護者その他    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1   | 1   | 1   | 4     | 2.8   | 1    | 1        | 1    | 1    | 1    | 1    | 1   | 13    | 15.7  |  |  |
| 合計   |      | 合計        | 24       | 22   | 31   | 54   | 11  | 4   | 1   | 147   | 100.0 | 12   | 9        | 15   | 14   | 25   | 15   | 5   | 95    | 100.0 |  |  |
| %    |      | %         | 16.3     | 15.0 | 21.1 | 36.7 | 7.5 | 2.7 | 0.6 | 100.0 |       | 12.6 | 9.5      | 15.8 | 14.7 | 26.3 | 15.8 | 5.3 | 100.0 |       |  |  |

表2-13 介護者をとりにく状況、団地・農村比較

| 介護者の健康   | 介護者の健康  |          | とても健康     | 普通        | 病気がち      | 身体的に<br>不自由あり | N.A.       | プラス回答      |   |
|----------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|---------------|------------|------------|---|
|          | I 団地介護者 | II 農村介護者 |           |           |           |               |            | 介護者普通以上の健康 | 計 |
| 介護者の健康   | I 団地介護者 | II 農村介護者 | 19.0(28)  | 70.1(103) | 6.8(10)   | 3.4(5)        | 0.7(1)     | I 89.1     | 計 |
|          |         |          | 11.6(11)  | 72.6(69)  | 10.5(10)  | 2.1(2)        | 3.2(3)     | II 84.2    |   |
| 介護の代替見込み | 現在代りあり  |          |           | 一部分代りあり   | 代替得る見込みあり | 全然ない          | N.A.       |            | 計 |
|          | I 団地介護者 | II 農村介護者 | 40.1(59)  | 19.0(28)  | 16.3(24)  | 23.8(35)      | 0.7(1)     | I 76.0     |   |
| かかりつけの医師 | I 団地老人  | II 農村老人  | 60.0(57)  | 22.1(21)  | 7.4(7)    | 4.2(4)        | 6.3(6)     | II 95.5    | 計 |
|          |         |          | あり        | なし        | N.A.      | 計             |            |            |   |
| かかりつけの医師 | I 団地老人  | II 農村老人  | 75.5(111) | 24.5(36)  | —         | 100.0(147)    |            | I 75.5     | 計 |
|          |         |          | 83.2(79)  | 11.6(11)  | 5.3(5)    | 100.0(95)     |            | II 83.2    |   |
| 入院できる施設  | I 団地老人  | II 農村老人  | あり        | なし        | N.A.      | 計             |            |            | 計 |
|          |         |          | 51.0(75)  | 45.6(67)  | 3.4(5)    | 100.0(147)    |            | I 51.0     |   |
| 入院できる施設  | I 団地老人  | II 農村老人  | 62.1(59)  | 23.2(22)  | 14.7(14)  | 100.0(95)     |            | II 62.1    | 計 |
|          |         |          | まだ考えていない  | 少し不安である   | 不安を感じる    | N.A.          |            |            |   |
| 介護者の老後不安 | I 団地老人  | II 農村老人  | 38.1(56)  | 40.8(60)  | 21.1(31)  | —             | 100.0(147) | I 38.1     | 計 |
|          |         |          | 58.9(56)  | 20.0(19)  | 5.3(5)    | 15.8(15)      | 100.0(95)  | II 70.0    |   |
| 家計上の苦しさ  | I 団地介護者 | II 農村介護者 | 感じていない    | 若干感じている   | あまり感じない   | 感じない          | N.A.       |            | 計 |
|          |         |          | 41.5(61)  | 34.0(50)  | 18.4(27)  | 6.1(9)        | —          | I 24.5     |   |
| 家計上の苦しさ  | I 団地介護者 | II 農村介護者 | 38.9(37)  | 24.2(23)  | 21.1(20)  | 8.4(8)        | 7.4(7)     | II 31.8    | 計 |
|          |         |          |           |           |           |               |            |            |   |

割近く（団地 89%，農村 84%）の介護者が普通以上の健康状態を保っている。病気がちのものがやや農村に多いのは、介護者の年齢層が高齢層に分散している差が表われているものと推察される。現状からみれば、介護者の健康という資源において地域差は認められない。

しかし、介護者が病気など、老人介護の役割を遂行できなくなったと想定したとき、「介護代替者を得る見込み」については明らかに地域差が検出された。すなわち、「介護不可能になったときの介護代替者の見込みが全然ないもの」は、団地において、24%にのぼっている（農村 4%）。都市老人看護における臨時の人的資源の外部援助サービスが望まれる所以である。

「かかりつけの医師」および、「入院できる施設」についても、ともに団地の方がなしとするもの多く、医師では 25%，入院施設では 46%にのぼっている（農村各 12%，23%）。都市においての医療環境は、純農村のそれよりも、はるかに整備されているだろうという常識を破るこの結果は、居住歴の浅い都市ニュータウン団地の盲点を指摘するものといえよう。

将来にわたる「自分の老後に不安をもつもの」は団地介護者に多く 62%（農村 25%）。農村介護者との大差が目される。

「家計の苦しさを感じているもの」も、団地の方が高く（76%，農村 63%）、老人扶養の 1つの柱たる経済的扶養に関し、ひいては、老人の経済的安定欲求にこたえる上で問題とされることである。

団地介護者の 76% が家が狭いと感じている（既述表 2—4，農村 15%）住宅環境と家計の苦しさは、介護者をとりまく経済的・心理的圧迫要因として大きくその介護意識を規定する要因となること

別表 II

| 家族類型 | 家族形態                    | 老人と介護者の続柄ダイアド関係 |
|------|-------------------------|-----------------|
| 01   | 母親と既婚子の核家族 (M-N)        | 夫の母—嫁           |
| 02   | 〃 (M-N)                 | 妻の母—妻           |
| 03   | 〃 (M-N)                 | 夫の母—夫           |
| 04   | 父親と既婚子の核家族 (F-N)        | 夫の父—夫           |
| 05   | 〃 (F-N)                 | 夫の父—嫁           |
| 06   | 祖母と片親と孫の家族 (M-FまたはM-M)  | {母—息子<br>母—娘    |
| 07   | 母親と未婚子の家族 (M)           | 母—未婚男子          |
| 08   | 〃 (M)                   | 母—未婚女子          |
| 09   | 片親と子夫婦同居家族 (F-CまたはM-C)  | {夫の父—夫<br>妻の母—妻 |
| 10   | 老夫婦と未婚子の家族 (N)          | 父—未婚子           |
| 11   | 〃 (N)                   | 夫—妻             |
| 12   | 老夫婦のみの家族 (C)            | {夫—妻<br>妻—夫     |
| 13   | 老夫婦と既婚子の核家族 (C-NまたはC-C) | 夫の父—嫁           |
| 14   | 老夫婦と片親と孫の家族 (C-MまたはC-F) | {父—息子<br>父—娘    |
| 15   | 他親族と同居 (S-N)            | 老人—他親族          |
| 16   | 祖母と孫の四世代家族              | 祖母—孫            |

注：家族形態の（ ）内のローマ字はダイアドを示す。

Fは父子ダイアド，Mは母子ダイアド，Cは夫婦ダイアド，Nは核家族（夫婦と未婚の子供のダイアドユニット）Sは兄弟姉妹のダイアド。—は世帯間関係を示す。

が考えられる。

② 介護対象老人の健康と身体状況

「老人の身体状況」における地域比較は、表 2—14 に示される。老人の年齢層分布を反映してか「とても健康」な老人は農村に多く、27%を占めている（団地 14%）。しかし、特に病気がない老人を含めると、ともに 6割近く（農村 58%，団地 57%）が普通の状態を保っている。すなわち、看護を要する老人は、団地、農村ともに 4割以上、うち重症老人もともに 3%（団地 5人，農村 3人）という現状である。日常生活に他人の介護を必要とする老人数は次の通りであるが、

表2-14 老人の健康、身体状況、団地・農村比較

| 老人の健康          | ① とても健康     |             | ② と病気に病気がなし |             | ③ 軽い病気に病気がかかっている |             | ④ 重症の病気をもち |           | 計            |              |           |
|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|-------------|------------|-----------|--------------|--------------|-----------|
|                | I 団地老人      | II 農村老人     | I 団地老人      | II 農村老人     | I 団地老人           | II 農村老人     | I 団地老人     | II 農村老人   |              |              |           |
| 老人の健康          | I 14.3(21)  | II 23.2(22) | I 42.2(62)  | II 27.4(26) | I 39.5(58)       | II 33.7(32) | I 3.4(5)   | II 3.2(3) | I 100.0(147) | II 100.0(95) |           |
| 食              | 自分で食べられる    |             | 手伝わう        |             | 食べさせて            |             | N.A.       |           | 計            |              |           |
| 食事             | I 98.0(144) | II 92.6(88) | I 1.4(2)    | II 1.1(1)   | I 0.7(1)         | II 5.3(5)   | —          | 1.1(1)    | I 100.0(147) | II 100.0(95) |           |
|                | I 97.3(143) | II 87.4(83) | —           | —           | I 1.4(2)         | II 5.3(5)   | 1.4(2)     | —         | —            | 7.4(7)       |           |
| 用便             | 自分でトイレです    |             | 手伝わう        |             | 簡易便器を使用する        |             | オムツ等使用する   |           | 計            |              |           |
| 歩行             | I 91.8(135) | II 89.5(85) | I 2.7(4)    | II 1.1(1)   | I 3.4(5)         | II 1.1(1)   | I 2.4(3)   | II 1.1(1) | I 100.0(147) | II 100.0(95) |           |
|                | I 94.6(137) | II 86.3(82) | I 2.7(4)    | II 3.2(3)   | I 1.4(2)         | II 3.2(3)   | I 1.4(2)   | —         | —            | 7.4(7)       |           |
| 衣類の着脱          | 自分で着脱       |             | どらやら        |             | 手伝わう             |             | 脱着して       |           | 計            |              |           |
| 歩行             | I 91.8(135) | II 89.5(85) | I 2.7(4)    | II 1.1(1)   | I 3.4(5)         | II 1.1(1)   | I 2.4(3)   | II 1.1(1) | I 100.0(147) | II 100.0(95) |           |
|                | I 94.6(137) | II 86.3(82) | I 2.7(4)    | II 3.2(3)   | I 1.4(2)         | II 3.2(3)   | I 1.4(2)   | —         | —            | 7.4(7)       |           |
| 老人の身体状況 (M.A.) | I 0.7(1)    | II 1.1(1)   | I 1.4(2)    | II 1.4(2)   | I 1.4(2)         | II 1.4(2)   | —          | 2.1(2)    | I 0.7(1)     | II 1.1(1)    |           |
| 非該当老人          | 下痢気味        |             | 夜間頻尿        |             | 食欲不振             |             | 不眠         |           | 言語障害         |              |           |
| I 51.7(76)     | II 64.2(61) | I 1.4(2)    | II 2.1(2)   | I 4.8(7)    | II 7.4(7)        | I 1.4(2)    | II 1.1(1)  | I 4.8(7)  | II 5.3(5)    | I 2.7(4)     | II 1.1(1) |
| その他            | I 5.4(8)    | II 8.4(8)   | I 2.0(3)    | II 2.1(2)   | I 14.3(21)       | II 8.4(8)   | I 1.4(2)   | II 1.1(1) | I 12.2(18)   | II 5.3(5)    |           |

とても健康な老人と  
とくに病気のない老人  
I 56.5  
II 50.5

老人の介護行動に関する研究

|     | 食 事 | 用 便 | 歩 行 | 衣類着脱 |
|-----|-----|-----|-----|------|
| 団 地 | 3人  | 4人  | 12人 | 8人   |
| 農 村 | 6人  | 5人  | 3人  | 6人   |

食事、用便、歩行、衣類着脱等、日常の休まない世話である点、その内容は深刻である。老化の段階によっては、家族内の介護のみではとても尽くしおえぬことが推測されるのである。在宅ねたきり老人に対する専門機関よりのサービスはもち論のことながら、そこにいたるまでの状態、すなわち、食事、歩行等、日常の生活に他人の介護を少しでも必要とする在宅老人に対しても、きめ細かい社会的援助が望まれるところであろう。

具体的な老化症状に該当する老人数（複数回答）も、団地の方が多く、48%（71人）が何らかの老化症状を訴えている（農村36%、34人）。中でも団地老人に多い症状は、ぼけ（12%）、便秘（16%）、難聴（14%）、視力障害（12%）の4症状が1割を越えている。農村では、ぼけ（7.4%）、拘縮（8.4%）、夜間頻尿（7.4%）、難聴（8.4%）があげられる。概して団地老人の方が老化症状の進んでいるものが多い。

子供や若い者の病気は短期間であり、また治癒の見込みもあるが、老人の病気に伴う身体の諸症状は長期間で、しかも全快の見込みも少なく、介護にも質的な違いを求める。それだけに、老人同居世帯において、老人が健康であるか、病気であるかの落差は、他のライフサイクル段階でいずれかの家族成員が病気であるか否かに比べ、より大きいものがある。そこにいざ老人が病気になったときの親族、および近隣よりの援助が求められるのである。

- ③ 老人をめぐる親族ネットワーク  
老人が困ったとき、病気のと看、すぐかけつけ

てくれる人があることは、老人の情緒安定のニードをみたすと同時に、介護者にとっても、心理的サポートを与える資源と考えられる。表2-12には、親族接触にアベイラブルな、親族ネットワークとして、老人の健在子数および生存するきょうだい数を集計した。団地・農村ともに、戦前の多産型ライフサイクルパターンを反映して、こども数、きょうだい数ともに多く、老人援助の关系的人的資源からみると、まだ恵まれた老人世代と観察された。ちなみに、健在子のない老人は、農村1%、団地3%とまことに低率である。また、きょうだいのない世帯は、農村19%、都市23%で、都市老人がより高齢な結果がうかがわれる。

次にこの異居近親のうち、いざ老人の病気とか、困ったときにすぐかけつけてくれる援助にアクティブな人数を調査すると、そこに大きな地域差が検出された。すなわち農村では「すぐかけつけてくれる人が5人以上」の世帯が32%にのぼるのに対し、団地のモードは「すぐかけつけてくれる人が1人」の世帯にあり（28%）、まったくその援助ネットワークをもたぬ世帯も12ケース（8%）存在している。しかも、その相手の居住地が、農村では、同町内に62%が住むのに比し、団地では、最も遠い県外に住むものが71%にのぼり、都市老人世帯における援助ネットワークの弱さを示している。

老人のこどもネットワークときょうだいネットワークの有効動員率を、地域別に延人数により算出すると、農村で高く、団地で低い地域差を示した（表2-15）。すなわち、農村地域をトータルにみて、いざという時老人のもとにかけつけてくるこどもネットワークの有効動員率は67%にのぼるが、団地では53%であり、同じく老人のきょうだいネットワークの有効動員率は、農村25%

表 2-15 老人の援助ネットワーク団地、農村比較

(1)

| アベイラブル親族ネットワーク     |                   | 1人       | 2人       | 3人       | 4人       | 5人       | 6人       | 7人             | 8人     | 9人     | 10人以上  | なし     | 計          |
|--------------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------------|--------|--------|--------|--------|------------|
| 関係的<br>実在人数        | 老人の子ども数<br>(健在子数) | 12.9(19) | 14.3(21) | 23.8(35) | 17.0(25) | 14.3(21) | 6.1(9)   | 4.8(7)         | 2.7(4) | —      | 0.7(1) | 3.4(5) | 100.0(147) |
|                    |                   | 5.3(5)   | 10.5(10) | 22.1(21) | 28.4(29) | 11.6(11) | 9.5(9)   | 2.1(2)         | 4.2(4) | 3.2(3) | —      | 1.1(1) | 100.0(95)  |
| 計                  |                   | 1人       | 2人       | 3人       | 4人       | 5人以上     | N.A.     |                |        |        |        |        |            |
| 老人のきょうだい数<br>(実在数) | I 団地老人            | 19.7(29) | 16.3(24) | 17.7(26) | 10.2(15) | 10.2(15) | 23.1(34) | S <sub>1</sub> |        |        |        |        |            |
|                    | II 農村老人           | 7.4(7)   | 21.1(20) | 15.8(15) | 10.5(10) | 24.2(63) | 18.9(18) | 2.1(2)         |        |        |        |        |            |

(2)

| アクティブ援助ネットワーク         |         | 1人       | 2人       | 3人       | 4人       | 5人以上     | なし        | 不明             | 計          |
|-----------------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------------|------------|
| 困った時すぐかけつけてくれる人       | I 団地老人  | 27.9(41) | 17.0(25) | 18.4(27) | 11.6(17) | 17.0(25) | 8.2(12)   | —              | 100.0(147) |
|                       | II 農村老人 | 12.6(12) | 16.8(16) | 15.8(15) | 16.8(16) | 31.6(30) | 5.3(5)    | 1.1(1)         | 100.0(95)  |
| かけつけてくれる人の中の老人の子ども数   | I 団地老人  | 25.2(37) | 20.4(30) | 15.0(22) | 10.9(16) | 6.1(9)   | 22.4(33)  | C <sub>2</sub> |            |
|                       | II 農村老人 | 23.2(22) | 24.2(23) | 22.1(21) | 14.7(14) | 6.3(6)   | 9.5(9)    | 100.0(95)      |            |
| かけつけてくれる人の中の老人のきょうだい数 | I 団地老人  | 19.0(28) | 4.8(7)   | 0.7(1)   | 2.0(3)   | —        | 73.5(108) | S <sub>2</sub> |            |
|                       | II 農村老人 | 22.1(21) | 14.7(14) | 4.2(4)   | —        | —        | 58.9(56)  | 100.0(95)      |            |
| かけつけてくれる人内の、親族外の人     | I 団地老人  | 14.3(21) | 4.1(6)   | 0.7(6)   | 0.7(1)   | —        | 81.0(119) | 100.0(147)     |            |
|                       | II 農村老人 | 7.4(7)   | 9.5(9)   | 9.5(9)   | —        | —        | 83.2(99)  | 100.0(95)      |            |

(3)

| 援助ネットワークの到達距離 |         | 1人       | 2人       | 3人       | 4人       | 5人以上   | なし        | 計          |
|---------------|---------|----------|----------|----------|----------|--------|-----------|------------|
| かけつける人住所      | I 団地老人  | 12.2(18) | 2.7(4)   | —        | —        | —      | 85.0(125) | 100.0(147) |
|               | II 農村老人 | 23.2(22) | 20.0(19) | 12.6(12) | 5.3(5)   | 1.1(1) | 37.9(36)  | 100.0(95)  |
| かけつける人住所      | I 団地老人  | 12.2(18) | 4.1(6)   | —        | 0.7(1)   | —      | 83.0(122) | 100.0(147) |
|               | II 農村老人 | 8.4(8)   | 2.1(2)   | 1.1(1)   | —        | —      | 88.4(84)  | 100.0(95)  |
| かけつける人住所      | I 団地世帯  | 26.5(39) | 9.5(14)  | 2.0(3)   | 0.7(1)   | —      | 61.2(90)  | 100.0(147) |
|               | II 農村世帯 | 24.2(23) | 21.1(20) | 10.5(10) | 10.5(10) | —      | 33.7(32)  | 100.0(95)  |
| かけつける人住所      | I 団地世帯  | 27.9(41) | 18.4(27) | 14.3(21) | 8.8(13)  | 2.0(3) | 28.6(42)  | 100.0(147) |
|               | II 農村世帯 | 8.4(8)   | 8.4(8)   | 1.1(1)   | —        | 1.1(1) | 81.1(77)  | 100.0(95)  |

(4) 親族ネットワーク有効動員率  
有効動員率 =

かけつける親族地域延人数  
実在親族地域延人数

|                           | 団地                    | 農村                    |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 老人の子どもネットワーク有効動員率 (見込み)   | 272人<br>516人<br>=52.7 | 252人<br>378人<br>=66.7 |
| 老人のきょうだいネットワーク有効動員率 (見込み) | 57人<br>290人<br>=19.7  | 61人<br>247人<br>=24.7  |

(5) 援助ネットワークのある世帯率

|                | 団地          | 農村 |
|----------------|-------------|----|
| かけつける子どものある世帯数 | 114         | 86 |
| 健在子もつ世帯数       | 142         | 94 |
|                | 80.3% 91.5% |    |
| きょうだい援助ある世帯数   | 39          | 39 |
| 実在するきょうだい世帯数   | 113         | 77 |
|                | 34.5% 50.7% |    |



に対し団地は20%という行動パターンの違いが検出された。しかも、団地老人をめぐる親族の居住地が遠隔地であるという条件は、介護における持続的援助を期待することの困難さを推測させる。農村におけるように、親族ネットワークが同時に近隣ネットワークとしても、機能する背景と異なり、ここに、都市老人をとりまくコミュニティーの役割が大きく期待される場所であろう。

「介護者の老人介護行動に対し、理解し、相談にのってくれる対象」についての調査(表2-16)では、団地、農村ともにそのほとんどが親族をあげ、近隣の人、知人は合せても1割にみえない現状である。親族の中では配偶者ときょうだいをあげるものが多い。中でも、厳しい老人介護環境にある団地介護者が、最も多く配偶者をあげている(41%)点は注目すべき知見である。介護者がその介護行動について他者からの理解、サンクションを得ることは、そこにやりがい感を生み、介護モラルも高められることを思うとき、世代間扶養における夫婦関係の役割、その家族力動の考察は重要と考えられる。

「介護知識についての情報源」(表2-17)については、団地、農村ともに新聞、雑誌が33%でトップを占め、家族、親族は農村の方がやや高率である。専門機関の看護婦、保健婦から介護知識を得ているものは、団地、農村ともに15%である。

以上、介護行動という目標志向行為の、様式を拘束する手段としての介護者環境について、分析を進めてきた。総じて、団地老人同居世帯における介護環境は、流動社会に生きてきた都市老人の背景をうつつして、農村よりはるかに厳しい条件が観察された。しかも、老年期のライフステージにおける生活構造は、まったく多様であり、きめ細かい社会福祉サービスへのニーズが、高齢化社会

表2-16 介護についての理解者、相談者

| 老人の世話についての相談者(M.A)  | 配偶者      | 子ども      | 父      | 母        | きょうだい    | その他の親族 | 近隣の人   | 近隣以外の友人 | ホームヘルパー | 保健婦<br>看護婦 | その他    | N.A.     |
|---------------------|----------|----------|--------|----------|----------|--------|--------|---------|---------|------------|--------|----------|
|                     |          |          |        |          |          |        |        |         |         |            |        |          |
| I 団地介護者<br>II 農村介護者 | 40.8(60) | 17.9(26) | 4.1(6) | 32.7(48) | 10.2(15) | 5.4(8) | 4.8(7) | —       | —       | —          | 0.7(1) | —        |
|                     | 30.5(29) | 16.8(16) | 5.3(5) | 29.5(28) | 15.8(15) | 9.5(9) | —      | —       | —       | 1.1(1)     | 2.1(2) | 18.9(18) |
| I 団地介護者<br>II 農村介護者 | 1.4(2)   | —        | —      | —        | —        | —      | —      | —       | —       | —          | —      | —        |
|                     | 12.6(12) | —        | —      | —        | —        | —      | —      | —       | —       | —          | —      | —        |

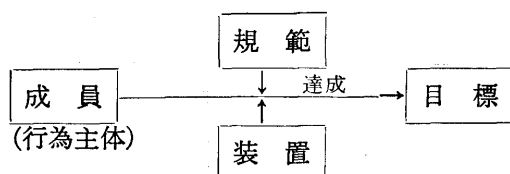
表2-17 介護知識の情報源

| 介護知識の情報源(M.A)       | テレビ・ラジオ  | 新聞・雑誌    | 病院看護婦<br>保健婦 | 市町村の保健所<br>保健婦 | ホームヘルパー | 近隣の人     | 家族・親族    | その他    | N.A.     |
|---------------------|----------|----------|--------------|----------------|---------|----------|----------|--------|----------|
|                     |          |          |              |                |         |          |          |        |          |
| I 団地介護者<br>II 農村介護者 | 27.9(41) | 32.7(48) | 14.3(21)     | 1.4(2)         | —       | 6.8(10)  | 20.4(30) | 2.0(3) | —        |
|                     | 25.3(24) | 32.6(31) | 10.5(10)     | 4.2(4)         | —       | 13.7(13) | 27.4(26) | 2.1(2) | 28.4(27) |
| I 団地介護者<br>II 農村介護者 | 49.7(73) | —        | —            | —              | —       | —        | —        | —      | —        |
|                     | 20.0(19) | —        | —            | —              | —       | —        | —        | —      | —        |

へ向けて今後ますます高まるであろうことが想像されるのである。

④ 老人介護の規範意識

森岡清美は、その『家族周期論』(1973, 培風館)において、生活構造における4つの要素、すなわち、「成員」、「装置」、「規範」、「目標」を析出し、次のようにその関係を図式化している(同書, p. 329)。



これまでの調査結果の分析をこの図式にてらして考えるならば、いわゆる生活体が利用しうる、ないしは生活体を拘束する、手段としての「装置」についての考察であったといえよう。

次に、生活構造の制度的要素である「規範」について分析をすすめた。それが表2-18である。すなわち、介護対象老人の介護についての続柄別役割規範意識の地域比較である。

介護行動に関する社会規範を、いかに内面化しているかにより、その介護ピリフも異なっているものと思われる。また、家族変動のはげしい今日、介護対象との続柄により、その役割規範意識もさまざまな変異をみせるものと想定し、次の3つの場合にわけて役割規範意識を調査した。

- (a) 老人が、介護者の配偶者である場合
- (b) 老人が、介護者にとって、配偶者の両親である場合
- (c) 老人が、介護者の両親である場合

まず団地の介護者において、上の3つの続柄別の老人介護規範を比較してみよう。「老人の世話は当然だと思ふ」項目では、(a) 配偶者である場合が最も高く、7割(69%)にのぼる。(b)および

(c)は世代間介護となるが、義理関係の配偶者の両親(b)の方がより低く44%、血縁関係の両親(c)では60%と、その規範意識では、同じ老親子関係でも違いをみせている。農村介護者においては、(a)→(c)→(b)という順序は団地と同じ傾向であるが、配偶者の場合と、自分の親の場合の差はほとんどなく(a)57%、(c)55%、配偶者の両親の場合(b)のみ39%と低率である。ただし、「世話をするのがふつう」と思うものをあわせると、農村では、自分の両親に対する場合(c)も、配偶者の親に対する場合(b)もともに7割以上となり、その差はみられない。

ここで注意しなければならないことは、農村介護者の、意識調査項目における無回答の比率の高さであろう。いずれの項目においても約2割の無回答が析出された。なぜ農村の意識調査項目に無回答が多かったか、これも社会的に何らかの意味を含むものと思うが、ここでは、とりあえず団地との比較を行なうために、無回答を省いた世帯について、おのおの再集計し、団地の意識と農村の意識の比較を行なった。

まず「老人が介護者の配偶者である場合」の介護義務意識は、団地・農村ともに非常に高く(団地98%、農村97%)地域差は認められなかった。次に「老人が介護者の両親である場合」についても、団地・農村ともに介護義務意識は93%と同率を示している。ただし、それを「当然とするもの」が、農村の方に多く、「ふつう」とするものが、団地に多いという程度の差は認められる。「老人が、配偶者の両親の場合」における介護規範意識は、やや団地介護者の方がその介護義務を否定する比率が高く(団地10%、農村7%)差をみせている。この団地介護者における「配偶者の両親場合、世の話をしなければならないとは思わない

表2-18 老人介護の規範意識 { (a) 配偶者の場合  
(b) 配偶者の両親の場合  
(c) 自分の両親の場合 } 団地・農村比較

| (1) 統括比較                                             |        | ①         | ②        | ③         | ④      | N.A.     | 計          |
|------------------------------------------------------|--------|-----------|----------|-----------|--------|----------|------------|
| 老人はお世話しなければならぬ                                       |        | 当然だと思ふ    | ふつうと思ふ   | あまりそう思わない | そう思わない |          |            |
| I (a) 老人が配偶者の場合<br>(b) 配偶者の両親の場合<br>(c) 老人が自分の両親の場合  | I (a)  | 68.7(101) | 21.8(32) | 0.7(1)    | 1.4(2) | 7.5(11)  | 100.0(147) |
|                                                      | (b)    | 44.2(65)  | 40.1(59) | 8.2(12)   | 0.7(1) | 6.8(10)  | 100.0(147) |
|                                                      | (c)    | 59.9(88)  | 31.3(46) | 6.1(9)    | 0.7(1) | 2.0(3)   | 100.0(147) |
| II (a) 老人が配偶者の場合<br>(b) 配偶者の両親の場合<br>(c) 老人が自分の両親の場合 | II (a) | 56.8(54)  | 20.0(19) | 1.1(1)    | 1.1(1) | 21.1(20) | 100.0(95)  |
|                                                      | (b)    | 38.9(37)  | 31.6(30) | 3.2(3)    | 2.1(2) | 24.2(23) | 100.0(95)  |
|                                                      | (c)    | 54.7(52)  | 16.8(16) | 4.2(4)    | 1.1(1) | 23.2(22) | 100.0(95)  |
| (2) 団地・農村比較                                          |        | ①         | ②        | ③         | ④      | N.A.     | 計          |
| (a) 配偶者の場合                                           | I 団地   | 74.3(101) | 23.5(32) | 0.7(1)    | 1.5(2) | .        | 100.0(136) |
|                                                      | II 農村  | 72.0(54)  | 25.3(19) | 1.3(1)    | 1.3(1) | .        | 100.0(75)  |
| (b) 配偶者の両親の場合                                        | I 団地   | 47.4(65)  | 43.1(59) | 8.8(12)   | 0.7(1) | .        | 100.0(137) |
|                                                      | II 農村  | 51.4(37)  | 41.7(30) | 4.2(3)    | 2.8(2) | .        | 100.0(72)  |
| (c) 自分の両親の場合                                         | I 団地   | 61.1(88)  | 31.9(46) | 6.3(9)    | 0.7(1) | .        | 100.0(144) |
|                                                      | II 農村  | 71.2(52)  | 21.9(16) | 5.5(4)    | 1.4(1) | .        | 100.0(73)  |

表2-19 老人と介護者の統括 (実態)

| 老人の統括 | I 団地世帯     | II 農村世帯   |
|-------|------------|-----------|
| 夫     | 10.9(16)   | 13.7(13)  |
| 妻     | 1.4(2)     | 4.2(4)    |
| 父     | 13.6(20)   | 16.8(16)  |
| 母     | 39.5(58)   | 20.0(19)  |
| の父    | 9.5(14)    | 14.7(14)  |
| の母    | 22.4(33)   | 26.3(25)  |
| 祖     | —          | —         |
| 祖     | 1.4(2)     | 4.2(4)    |
| その他   | 1.4(2)     | —         |
| 計     | 100.0(147) | 100.0(95) |
| 配偶者の親 | 32.0(47)   | 41.0(39)  |
| 自分の親  | 53.1(78)   | 36.8(35)  |

|               |       | ①+②  | ③+④ | ①+②  | ③+④ |
|---------------|-------|------|-----|------|-----|
| (a) 配偶者の場合    | I 団地  | 97.8 | 2.2 | 97.8 | 2.2 |
|               | II 農村 | 97.3 | 2.6 | 90.5 | 9.5 |
| (b) 配偶者の両親の場合 | I 団地  | 90.5 | 9.5 | 93.0 | 7.0 |
|               | II 農村 | 93.1 | 6.9 | 97.3 | 2.6 |
| (c) 自分の両親の場合  | I 団地  | 93.0 | 7.0 | 93.1 | 6.9 |
|               | II 農村 | 93.1 | 6.9 | 93.1 | 6.9 |

もの」13人の存在は、現在はたとえ少数派であっても、それが今後増大し、伝統的介護規範に対立していく萌芽なのかどうか、注目すべき分析対象といえよう。ちなみに老人と介護者の続柄の実態(表2—19)を分析すれば、団地老人同居世帯において、「老人が介護者にとって配偶者の親」の関係にあるものは29%にすぎず、「自分の親」にあたるものは逆に54%となっている。この背景には介護規範における伝統的パターンからの変異が推測されるのではなからうか。団地老人同居世帯における無配偶老人の多さ、および住空間の厳しさとともに、団地老人が、介護者の血縁の親子関係にあるものが多いことは、その背景にある介護規範が、資源が限られてくる時どう変るかを示しているように思われる。

#### ⑤ 老人介護行動に関する諸意識

老人の介護行動に関する意識の結果は表2—20に示される。

まず「介護行動がその老人にとって必要であるかどうか」の必要感の意識では、団地介護者の方が「介護が必要な老人」であると、役割認知しているものの比率高く(35%)、農村よりも、介護の必要性から同居している老人の多いことを示している。

老人介護の役割遂行に対し、その「介護が老人に対し適切になされているか」という、介護者みずからの適切評価では、農村の方が高く、半数以上(54%)のものが、みずからの世話を適切と感じているのに対し、団地介護者では自分の介護を適切であるとするものは41%にすぎない。「世話の必要なし」とする比率はこの適切感の項目では、団地47%、農村43%である。その該当者を除き、世話を必要とするものだけに限れば、農村介護者の94%が、「適切である」と自負している。しか

し団地では77%にとどまっている。この適切評価の地域差は、団地における老人介護の役割遂行の困難さと、棄老につながる危険性をも暗示しているものと考えられる。

「老人と介護者との人間関係」では、「とてもよい」とするのは、やや農村の方が多い(23%、団地20%)。しかし「良い」と認めるものを合わせれば、やや団地の方が人間関係においてよい結果を示している(団地84%、農村81%)。農村において、老人との間柄があまりよくないとするものが、2割近くを占めていることは、農村家族が何世代にもひろがり、世帯員数が多く、介護者にとり義理関係の親である老人が多いこと対応するものかもしれない。

「介護役割に対するやりがい感」については、まったくどの段階においても、団地、農村とも、ほとんど同じ傾向を示し地域差は表われていない。

「介護における犠牲感」についても、その段階のちがいは少し認められるが、「犠牲になっていると思う」ことがあるかないかの区別では地域差はほとんどなく、ともに34%が犠牲感を感じている。「老人の終末ケアにおける責任感」の調査結果では、「自分なりにくふうした世話をしているつもりであり、これからも老人をみとってやりたい」と思うものは、農村で9割、団地ではそれよりやや少なく87%である。団地介護者の4%(5人)が「そう思わぬ」否定的回答を示していることは同居老人の役割期待に対し葛藤を示すものとして少数であるが注目すべき分析結果であろう。

「介護継続意欲と今後の見通し」の調査結果は介護意識の中で最も中核をなす調査項目といえる。すなわち、介護行動に対する動機づけとしての介護者のモラルとノルムの関係が問われているからである。すなわち、回答のカテゴリー①は「お

表2-20 介護行動に関する意識、団地・農村比較

| 介護の必要意識              | ①                                                        | ②                                                 | ③                                                   | ④                                     | ⑤                                 | 計                                                               | N.A. | ①+② | ③+④          | N.A. 必要なしをひいた比較 | ①+②       | ③+④ | n = 147<br>n = 79 |
|----------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------|-----|--------------|-----------------|-----------|-----|-------------------|
|                      | そう思う                                                     | まあ思う                                              | あまり思わない                                             | そう思わない                                | N.A.                              |                                                                 |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (とくに世話の必要な老人であると思うか) | 17.9(17)<br>23.1(34)<br>22.1(17)                         | 5.3(5)<br>12.2(18)<br>6.5(5)                      | 28.4(27)<br>24.5(36)<br>35.1(27)                    | 29.5(28)<br>40.1(59)<br>36.4(28)      | 18.9(18)<br>0.0(0)                | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(79)                            |      |     | 35.4<br>28.6 | 64.6<br>71.4    | I'<br>II' |     |                   |
| 介護の適切評価              | 15.8(15)<br>15.6(23)<br>18.8(15)                         | 29.5(28)<br>25.2(37)<br>35.0(28)                  | 2.1(2)<br>6.1(9)<br>2.5(2)                          | 1.1(1)<br>6.1(9)<br>1.3(1)            | 35.8(34)<br>46.9(69)<br>42.5(34)  | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(80)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| (適切な世話がなされているか)      | 17.9(17)<br>20.4(30)<br>22.7(17)                         | 46.3(44)<br>63.3(93)<br>58.7(44)                  | 12.6(12)<br>13.6(20)<br>16.0(12)                    | 2.1(2)<br>2.0(3)<br>2.7(2)            | 21.1(20)<br>0.7(1)<br>.           | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(75)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| 老人と介護者の人間関係          | とよい                                                      | よい                                                | あまりよくない                                             | 良くない                                  | N.A.                              | 計                                                               |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (老人との間柄はどうか)         | 17.9(17)<br>20.4(30)<br>22.7(17)                         | 46.3(44)<br>63.3(93)<br>58.7(44)                  | 12.6(12)<br>13.6(20)<br>16.0(12)                    | 2.1(2)<br>2.0(3)<br>2.7(2)            | 21.1(20)<br>0.7(1)<br>.           | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(75)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| 介護に対するやりがい           | あ                                                        | あまりない                                             | ない                                                  | とくに世話していない                            | N.A.                              | 計                                                               |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (世話のやりがいを感じる)        | 9.5(9)<br>12.2(18)<br>13.0(9)                            | 12.6(12)<br>16.3(24)<br>17.4(12)                  | 4.2(4)<br>6.1(9)<br>5.8(4)                          | 46.3(44)<br>63.3(93)<br>63.8(44)      | 27.4(26)<br>2.0(3)<br>.           | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(69)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| 介護における構性感            | よくある                                                     | とさきどきある                                           | あまりない                                               | 全然ない                                  | N.A.                              | 計                                                               |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (構性になっていて思う)         | 5.3(5)<br>4.1(6)<br>6.8(6)                               | 21.1(20)<br>29.3(43)<br>27.0(20)                  | 33.7(32)<br>32.7(48)<br>43.2(32)                    | 17.9(17)<br>31.3(46)<br>23.0(17)      | 22.1(21)<br>2.7(4)<br>.           | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(74)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| 終末ケアにおける責任感          | いっそもう思う                                                  | とさきどき思う                                           | あまり思わない                                             | そう思わない                                | N.A.                              | 計                                                               |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (ひとつやっていたいと思)        | 42.1(40)<br>57.1(84)<br>55.6(40)                         | 26.3(25)<br>25.9(38)<br>34.7(25)                  | 6.3(6)<br>8.8(13)<br>8.3(6)                         | 1.1(1)<br>3.4(5)<br>1.4(1)            | 24.2(23)<br>4.8(7)<br>.           | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(72)                            | 計    |     |              |                 |           |     |                   |
| 介護継続意欲と今後の見通し        | 世話をしたいのでつづける                                             | したいが、つづけるのがむずかしい                                  | したが、つづけるのがむずかしい                                     | 世話をしたいが、つづける必要はない                     | N.A.                              | 計                                                               |      |     |              |                 |           |     |                   |
| (老人の世話をつづけているか)      | 45.3(43)<br>64.6(95)<br>58.9(43)<br>74.2(95)<br>78.2(43) | 5.3(5)<br>9.5(14)<br>6.8(5)<br>10.9(14)<br>9.1(5) | 7.4(7)<br>12.9(19)<br>9.6(7)<br>14.8(19)<br>12.7(7) | 18.9(18)<br>12.2(18)<br>24.7(18)<br>. | 23.2(22)<br>0.7(1)<br>.<br>.<br>. | 100.0(95)<br>100.0(147)<br>100.0(73)<br>100.0(128)<br>100.0(55) | 計    |     |              |                 |           |     |                   |

表 2-21 家族類型別介護意欲と今後の見通し〔団地〕

| 家族類型               | 家族介護者形態                | ①<br>世話したいのでつづける | ②<br>世話したいが、つづけるのはむずかしい | ③<br>世話したくないが、つづけるしかない | ④<br>世話を必要ない | ⑤<br>N. A. | 計          |
|--------------------|------------------------|------------------|-------------------------|------------------------|--------------|------------|------------|
| 01                 | M-N 妻-夫の母              | 60.6(20)         | 6.1(2)                  | 21.2(7)                | 9.1(3)       | 3.0(1)     | 100.0(33)  |
| 02                 | M-N 妻-妻の母              | 82.4(14)         | 11.8(2)                 | —                      | 5.9(1)       | —          | 100.0(17)  |
| 03                 | M-N 夫-夫の母              | 53.3(8)          | 20.0(3)                 | 13.3(2)                | 13.3(2)      | —          | 100.0(15)  |
| 04                 | F-N 夫-夫の父              | 75.0(6)          | —                       | 12.5(1)                | 12.5(1)      | —          | 100.0(8)   |
| 05                 | F-N 妻-夫の父              | 44.4(4)          | 11.1(1)                 | 33.3(3)                | 11.1(1)      | —          | 100.0(9)   |
| 06                 | M-F 息子-母<br>M-M 娘-母    | 60.0(3)          | 20.0(1)                 | —                      | 20.0(1)      | —          | 100.0(5)   |
| 07                 | M 未婚男子-母               | 75.0(9)          | 8.3(1)                  | —                      | 16.7(2)      | —          | 100.0(12)  |
| 08                 | M 未婚女子-母               | 57.1(4)          | 14.3(1)                 | 14.3(1)                | 14.3(1)      | —          | 100.0(7)   |
| 09                 | M-C 妻-妻の母<br>F-C 夫-夫の父 | 75.0(3)          | —                       | —                      | 25.0(1)      | —          | 100.0(4)   |
| 10                 | N 息子・娘-父               | 71.4(5)          | —                       | 14.3(1)                | 14.3(1)      | —          | 100.0(7)   |
| 11                 | N 妻-夫                  | 57.1(4)          | —                       | 14.3(1)                | 28.6(2)      | —          | 100.0(7)   |
| 12                 | C 妻-夫                  | 81.8(9)          | 9.1(1)                  | —                      | 9.1(1)       | —          | 100.0(11)  |
| 13                 | C-N 妻-夫の父<br>C-C       | 60.0(3)          | 20.0(1)                 | 20.0(1)                | —            | —          | 100.0(5)   |
| 14                 | C-F 息子-父<br>C-M 娘      | 66.7(2)          | —                       | —                      | 33.3(1)      | —          | 100.0(3)   |
| 15                 | 他親族-老人                 | 50.0(1)          | —                       | 50.0(1)                | —            | —          | 100.0(2)   |
| 16                 | 四世代 孫-祖母               | —                | 50.0(1)                 | 50.0(1)                | —            | —          | 100.0(2)   |
| 団地 I 合計            |                        | 64.6(95)         | 9.5(14)                 | 12.9(19)               | 12.2(18)     | 0.7(1)     | 100.0(147) |
| (N. A. 世話を必要なし 省く) |                        | I 団地 74.2(95)    | 10.9(14)                | 14.8(19)               | .            | .          | 100.0(128) |
|                    |                        | II 農村 78.2(43)   | 9.1(5)                  | 12.7(7)                | .            | .          | 100.0(55)  |
| (N. A. 省く)         |                        | I 団地 65.1(95)    | 9.6(14)                 | 13.0(19)               | 12.3(18)     | .          | 100.0(146) |
| "                  |                        | II 農村 58.9(43)   | 6.8(5)                  | 9.6(7)                 | 24.7(18)     | .          | 100.0(73)  |

世話してあげたいので今後も続けるつもりである」という、介護についての規範を内面化した上でさらに老人介護に高い意欲を示すものである。このノルムもモラルも高い介護者は、団地 65%、農村 59% とともに高率を示している。とりわけ厳しい介護環境にある団地介護者が、介護継続意欲についてより高率を示していることは貴重な知見である。しかし、世話を要する老人に対するもののみ（団地 128 世帯、農村 85 世帯）に限れば、農村、団地ともに、7 割以上が介護継続意欲の高

さを示し、農村は 78% の高率である（団地 72%）。次のカテゴリ②は「世話してあげたいが、現実的に続けるのは難しいと思う」介護者意識である。これはモラルは高いのに、現実の資源または装置において、介護の見通しが困難なものであり、そこに介護者の苦悩のよみとれる集団である。団地介護者のうち 14 人（10%）、農村介護者の 5 人（9%）がこの葛藤多いグループに回答している。さらに介護継続意欲も低く「世話したくないが、つづけるしかない」とするノルムはあるがモラー

老人の介護行動に関する研究

表 2-22 家族類型別介護意欲と今後の見通し〔農村〕

| 家族類型 | 家族介護者形態    | 老人             | ①<br>世話をしたいのでつづける | ②<br>世話をしたいが<br>つづけるのは<br>むずかしい | ③<br>世話をしたくない<br>が<br>つづける<br>しかない | ⑤<br>世話を必要<br>ない | ⑥<br>N. A. | 計         |       |
|------|------------|----------------|-------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------|------------|-----------|-------|
| 01   | M-N        | 妻-夫の母          | 50.0(7)           | 7.1(1)                          | —                                  | 21.4(3)          | 21.4(6)    | 100.0(14) | 14.7% |
| 02   | M-N        | 妻-妻の母          | 33.3(1)           | 33.3(1)                         | —                                  | 33.3(1)          | —          | 100.0(3)  | 3.2   |
| 03   | M-N        | 夫-夫の母          | 50.0(3)           | —                               | —                                  | —                | 50.0(3)    | 100.0(6)  | 6.3   |
| 04   | F-N        | 夫-夫の父          | —                 | —                               | —                                  | —                | —          | —         |       |
| 05   | F-N        | 妻-夫の父          | 25.0(1)           | —                               | 50.0(2)                            | —                | 25.0(1)    | 100.0(4)  | 4.2   |
| 06   | M-F<br>M-M | 息子-母<br>娘-母    | 50.0(1)           | —                               | 50.0(1)                            | —                | —          | 100.0(2)  | 2.1   |
| 07   | M          | 未婚男子-母         | 50.0(2)           | —                               | —                                  | 25.0(1)          | 25.0(1)    | 100.0(4)  | 4.2   |
| 08   | M          | 未婚女子-母         | —                 | 50.0(1)                         | —                                  | —                | 50.0(1)    | 100.0(2)  | 2.1   |
| 09   | M-C<br>F-C | 妻-妻の母<br>夫-夫の母 | 33.3(1)           | —                               | 33.3(1)                            | 33.3(1)          | —          | 100.0(3)  | 3.2   |
| 10   | N          | 息子・娘-父         | 66.7(2)           | —                               | —                                  | —                | 33.3(1)    | 100.0(3)  | 3.2   |
| 11   | N          | 妻-夫            | 42.9(3)           | —                               | —                                  | 14.3(1)          | 42.9(3)    | 100.0(7)  | 7.4   |
| 12   | C          | 妻-夫            | 16.7(1)           | 16.7(1)                         | —                                  | 16.7(1)          | 50.0(3)    | 100.0(6)  | 6.3   |
| 13   | C-N<br>C-C | 妻-夫の父          | 44.4(12)          | 3.7(1)                          | 11.1(3)                            | 25.9(7)          | 14.8(4)    | 100.0(27) | 28.4  |
| 14   | C-F<br>C-M | 息子-父<br>娘      | —                 | —                               | —                                  | 100.0(1)         | —          | (1)       | 1.1   |
| 15   |            | 他親族-老人         | —                 | —                               | —                                  | —                | —          | —         |       |
| 16   |            | 四世代 孫-祖母       | 69.2(9)           | —                               | —                                  | 15.4(2)          | 15.4(2)    | 100.0(13) | 13.7  |
|      | 農村         | 合計             | 45.3(43)          | 5.3(5)                          | 7.4(7)                             | 18.9(18)         | 23.2(22)   | 100.0(95) | 100.0 |

ルは低いカテゴリー③のグループには、団地介護者の15% (19人) と、農村介護者の13% (7人) が回答している。総じて、介護行動の将来見とおしにおいてむずかしいとするもの、また意欲の低いものは農村より団地の方に多いことが注目される。④のカテゴリー「世話をしたくないので、やめようと思う」というノルムもモラルも低い介護者は、さすが団地・農村介護者ともに1人の該当者もいなかった。

以上、介護行動の役割意識項目においては、団地・農村ともそれぞれのサンプルの多様な背景をうつつして、交錯する傾向を示しているが、概してマクロにみるかぎり、介護環境におけるような大きな地域差はみられなかったといえる。

⑥ 介護継続意欲についての家族類型別分析

表 2-21 は介護意欲と今後の介護継続の見通しについて葛藤をみせる世帯の多い団地老人世帯に対し、先に設定した続柄ダイアド別家族類型の分析軸を用いたクロス結果である。「老人の世話をしてあげたいが、現実的に続けるのは難しいと思う」役割遂行の見通し困難な14世帯と、「世話をしたくないがつづけるしかない」とする介護継続意欲のうい19世帯について、その家族類型をみてみると次のような続柄ダイアド関係が析出された。まず葛藤多い世帯の比率が最も高いのは「16」類型の、「孫娘が祖母を介護している四世代世帯」である。高齢老人をかかえることから、

表 2-23 家族類型別老人介護時間 [団地]

| 家族類型           | 家族形態<br>介護者     | ①<br>30分<br>前後 | ②<br>1~2<br>時間 | ③<br>3~5<br>時間 | ④<br>半日位 | ⑤<br>ほとんど<br>1日中 | ⑥<br>夜間を通<br>して | ⑦<br>とくに世話<br>していない | ⑧<br>N. A. | 計          |
|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------|------------------|-----------------|---------------------|------------|------------|
| 01             | M-N 嫁           | 6.1(2)         | 15.2(5)        | 3.0(1)         | —        | 3.0(1)           | —               | 72.7(24)            | —          | 100.0(33)  |
| 02             | M-N 娘           | —              | —              | —              | —        | —                | —               | 100.0(17)           | —          | 100.0(17)  |
| 03             | M-N 息子          | 6.7(1)         | —              | —              | —        | —                | —               | 93.3(14)            | —          | 100.0(15)  |
| 04             | F-N 息子          | —              | 12.5(1)        | —              | —        | —                | —               | 89.5(7)             | —          | 100.0(8)   |
| 05             | F-N 嫁           | 11.1(1)        | 11.1(1)        | 11.1(1)        | 11.1(1)  | —                | —               | 55.6(5)             | —          | 100.0(9)   |
| 06             | M-F 息子<br>M-M 娘 | —              | 20.0(1)        | —              | —        | —                | —               | 80.0(4)             | —          | 100.0(5)   |
| 07             | M 未婚男子          | 8.3(1)         | 33.3(4)        | —              | —        | —                | —               | 58.3(7)             | —          | 100.0(12)  |
| 08             | M 未婚女子          | —              | —              | —              | —        | 28.6(2)          | —               | 71.4(5)             | —          | 100.0(7)   |
| 09             | M-C 息子<br>F-C 娘 | —              | —              | —              | —        | —                | —               | 100.0(4)            | —          | 100.0(4)   |
| 10             | N 未婚子           | 14.3(1)        | 14.3(1)        | —              | —        | —                | —               | 71.4(5)             | —          | 100.0(7)   |
| 11             | N 妻             | —              | 14.3(1)        | —              | —        | —                | —               | 85.7(6)             | —          | 100.0(7)   |
| 12             | C 妻夫            | —              | —              | —              | —        | —                | —               | 100.0(11)           | —          | 100.0(11)  |
| 13             | C-N 嫁<br>C-C    | —              | 40.0(2)        | —              | —        | —                | —               | 60.0(3)             | —          | 100.0(5)   |
| 14             | C-F 息子<br>C-M 娘 | —              | 33.3(1)        | —              | —        | —                | —               | 66.7(2)             | —          | 100.0(3)   |
| 15             | 他 親 族           | —              | —              | —              | —        | —                | —               | 100.0(2)            | —          | 100.0(2)   |
| 16             | 四世代 孫           | —              | —              | —              | —        | —                | 50.0(1)         | 52.0(1)             | —          | 100.0(2)   |
| 団地合計           |                 | 4.1(6)         | 11.6(17)       | 1.4(2)         | 0.7(1)   | 2.0(3)           | 0.7(1)          | 79.6(117)           | 0.0(0)     | 100.0(147) |
| 団地 I 合計        |                 | 4.1(6)         | 11.6(17)       | 1.4(2)         | 0.7(1)   | 2.0(3)           | 0.7(1)          | 79.6(117)           | —          | 100.0(147) |
| 農村 II 合計       |                 | 4.2(4)         | 6.3(6)         | 1.1(1)         | —        | 1.1(1)           | —               | 65.3(62)            | 23.1(21)   | 100.0(95)  |
| 団地 I           |                 | 4.1            | 11.6           | 1.4            | 0.7      | 2.0              | 0.7             | 79.6(117)           | —          | 100.0(147) |
| 農村 II 'N. A. 省 |                 | 5.4(4)         | 8.1            | 1.3            | —        | 1.3              | —               | 83.8(62)            | .          | 100.0(74)  |

二世帯ともに、介護の見通しに問題をかかえている。また、他親族が介護者である「15」類型の2世帯のうち、1世帯は介護継続意欲をなくしている世帯である。親子関係以外に世代間扶養を求めねばならないケースは、介護の必要性も高いと想像されるだけに、介護の困難も推測されるところである。次いで、無配偶になった「夫の父親」を嫁が介護する家族類型「05」のF-N世帯が高率を示している。団地の「05」類型の介護者9人中4人(44%)が葛藤を示し、とりわけ意欲は低いが続けるしかないという、忍従の介護者比率の高

いことが注目される。いわゆる「嫁が無配偶の夫の母親を介護する家族類型」「01」の葛藤比率27%(33人中9人)より高率であり、世間の常識の盲点を示すものであろう。表2-22は同様にして家族類型とのクロスによる農村介護者の、介護継続意欲の分析である。すべてに伝統的傾向を示した農村世帯においてさえ、家族類型別分析では、無配偶の夫の父親を嫁が介護する家族類型「05」において、介護継続意欲のないものが50%(2人)認められる。ここに、配偶者に先だたれた男性老人の介護のむずかしさが推測されるのである。平



均寿命がのび、高齢化社会になるにしたがい、「無配偶になった男性老人」も今後増加することが想像されるとき、この「05」類型の葛藤の深刻さは、見逃がし得ない知見といえよう。

表2—23は、団地における老人介護時間についての家族類型クロス分析であり、表2—24は同じく、団地老人の身体状況と介護代替見込みについての家族類型別クロス表である。

介護時間についても、老人の身体状況についても、また、介護代替見込みについても、先に介護意欲に葛藤をみせた「01」家族類型（嫁が無配偶のしゅうとめをみているM—N家族）、「05」類型（嫁が妻に先立たれた夫の父を介護しているF—N家族）、「16」類型（孫が祖母を介護する四世代家族）において、非常に厳しい介護状況が分析された。すなわち、介護時間が、3～5時間から夜間を通して介護するものがみられることである。また、老人の身体状況も、ぼけ、不潔行為、夜間頻尿、麻痺等、「世話したくないがつづけるしかない」と答えさせた背景が浮きぼりされている。

他に未婚女子が、無配偶の母親を介護する「08」類型も、介護時間がほとんど一日中に及ぶ老人の身体状況のものをかかえているケースが分析されている。

これらの家族類型は、老人の看護の必要性を独立変数とする従属変数としての家族形態ということが推測される。ここに夫婦家族制による直系家族形態、つまり、夫婦家族制のイデオロギーで家族発達をしてきた老夫婦家族が、配偶者の死亡とか、老人の身体的老化、発病により、やむなく、こどものところにひきとられた直系三世代家族であることが考察されるのである。

ここに同居、別居の分類で一口に老人世帯を論ずることは問題であり、老人同居世帯の中の変異

を深く考察することが重要と思われるのである。

老人と介護者のかかわりあいのキャリアの違いが、いかに介護継続意欲に影響するかは表2—25のクロス分析に示される。「世話したくないがつづけるしかない」モラルの低いグループはこ別居のあと同居に入った同居過程のもの、また同居期間が6～9年のものに多くみられる。老人の病気の状況も介護継続意欲に影響することがみられるが、老人との人間関係が最も介護継続意欲と関連することが分析された。ここに経験上より想定した仮説命題「介護意識を最も左右する要因は、介護者と老人の人間関係である」も、一部検証されたといえよう。また、その仮説にしたがい家族形態のなかに、老人と介護者の続柄というダイアド関係を視座に組み込んだ家族類型の分析軸は、介護意識調査の分析に有効であることが示された。

### 3 中間的まとめ——介護行動に関する生活構造の地域比較

先述した森岡清美による生活構造論の枠組みを参考に、以上の団地と農村における介護行動に関する調査結果をまとめ、地域比較を行なったのが図2—1である。

老人介護行動という目標達成のために、欲求主体・行為主体である老人、介護者をめぐるいかなる人的要素（成員）が、いかなる制度的要素（規範）により、またいかなる介護の社会環境、物的要素（装置）に拘束されて、介護行動に関する意識を形成し、それを動機づけとして、介護目標を達成しているか。その生活構造を都市団地の調査結果と農村の結果を対比したものである。

それぞれの調査項目の一次元集計を、介護行動にプラスとマイナスに働く回答に2分し、プラス回答の比率をまとめて一覧表に示した。またその

表2-24 家族類型別老人の身体状況、介護代替見込み〔団地〕

| 家族形態       | 家族類型 | 介護者    | 床ずれ | ぼけ   | 失禁  | 不潔  | 徘徊 | 個暴  | 力体  | 強い  | 身痛   | 麻痺  | 痺拘  | 縮気  | 便秘   | 味気  | 下痢  | 夜頻  | 間尿  | 食不振  | 欲振   | 不眠  | 言障   | 語難 | 聴障 | 視障 | 力害 | その他      | 介護代替見込  |
|------------|------|--------|-----|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|----|----|----|----|----------|---------|
| M-N        | 01   | 夫の母-嫁  | —   | 3    | 1   | —   | —  | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | 1   | 8    | 2   | 2   | 1   | 1   | —    | 2    | 3   | —    | 2  | —  | 3  | 3  | 30.3(10) |         |
|            | 02   | 妻の母-妻  | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | 4  | 2  | 2  | 1  | 29.4(6)  |         |
|            | 03   | 夫の母-夫  | —   | 1    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | 1   | 1   | —    | —    | 1   | —    | 4  | 1  | 1  | 1  | 20.0(3)  |         |
| F-N        | 04   | 夫の父-夫  | —   | 2    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | 1    | 3  | 1  | 1  | 1  | 12.5(1)  |         |
|            | 05   | 夫の父-嫁  | —   | 4    | —   | 1   | —  | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | 3   | —   | —    | —    | —   | —    | 2  | 2  | 1  | 1  | 44.4(4)  |         |
| M-F<br>M-M | 06   | 母-息子   | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | 2  | —  | —        | —       |
|            | 07   | 母-未婚男子 | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | 2  | —  | —        | —       |
| M-C<br>F-C | 08   | 母-未婚女子 | —   | 2    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | 1   | 2    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | 1   | 1    | —  | 2  | 2  | 1  | 33.3(4)  |         |
|            | 09   | 母・父-息子 | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | 1   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | 3  | 1  | 28.6(2)  |         |
| N          | 10   | 父-未婚女子 | —   | 3    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | 1   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | 1  | —  | —        |         |
|            | 11   | 夫-妻    | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | 1  | 1  | 28.6(2)  |         |
| C          | 12   | 夫-妻    | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | 1  | —  | —  | —        |         |
|            | 13   | 夫の父-嫁  | —   | 1    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | 1   | —   | —   | 1    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | —  | 1  | —        | —       |
| C-F<br>C-M | 14   | 父-息子   | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | —  | —  | —        | —       |
|            | 15   | 老人-他親族 | —   | —    | —   | —   | —  | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | —    | —  | —  | —  | —  | —        | 50.0(1) |
| 四世代        | 16   | 祖母-孫   | 1   | 1    | 1   | 1   | —  | —   | —   | —   | —    | 1   | —   | —   | —    | —   | —   | —   | —   | —    | —    | —   | 1    | —  | —  | —  | 1  | 100.0(2) |         |
| 合          | 計    |        | 1   | 17   | 2   | 2   | 0  | 1   | 3   | 2   | 23   | 2   | 7   | 8   | 23   | 2   | 7   | 7   | 4   | 21   | 18   | 12  | 35   |    |    |    |    |          |         |
|            | %    |        | 0.7 | 11.6 | 1.4 | 1.4 | —  | 0.7 | 2.0 | 1.4 | 15.4 | 1.4 | 4.8 | 5.4 | 15.4 | 1.4 | 4.8 | 4.8 | 2.7 | 14.3 | 12.2 | 8.2 | 23.8 |    |    |    |    |          |         |

老人の介護行動に関する研究

表 2-25 介護継続意欲と同居関係, 老人の健康, 老人との人間関係 [団地]

| 介護意欲と<br>継続意志                        |             | ①               | ②                         | ③                        | ④           | ⑤          | 合 計        |
|--------------------------------------|-------------|-----------------|---------------------------|--------------------------|-------------|------------|------------|
|                                      |             | 世話したい<br>のでつづける | 世話したい<br>がつづける<br>のはむずかしい | 世話したく<br>ないがつづ<br>けるしかない | 世話の必要<br>なし | N. A.      |            |
| 同居<br>過程                             | 結婚からずっと同居   | 73.6(39)        | 7.5( 4)                   | 7.5( 4)                  | 11.3( 6)    | —          | 100.0( 53) |
|                                      | 別居のあと同居     | 57.1(36)        | 11.1( 7)                  | 19.0(12)                 | 11.1( 7)    | 1.6( 1)    | 100.0( 63) |
|                                      | はじめ同居→別居→同居 | 54.5( 6)        | 18.2( 2)                  | 9.1( 1)                  | 18.2( 2)    | —          | 100.0( 11) |
|                                      | 生まれてからずっと同居 | 70.0(14)        | 5.0( 1)                   | 10.0( 2)                 | 15.0( 3)    | —          | 100.0( 20) |
|                                      | 合 計         | 64.6(95)        | 9.5(14)                   | 12.9(19)                 | 12.2(18)    | 0.7( 1)    | 100.0(147) |
| 同<br>居<br>期<br>間                     | ①           | ②               | ③                         | ④                        | ⑤           | 合 計        |            |
|                                      | 1～5年        | 66.7(24)        | 11.1( 4)                  | 13.9( 5)                 | 8.3( 3)     | —          | 100.0( 36) |
|                                      | 6～9         | 38.7(12)        | 16.1( 5)                  | 25.8( 8)                 | 16.1( 5)    | 3.2( 1)    | 100.0( 31) |
|                                      | 10年         | 72.2(13)        | 11.1( 2)                  | 11.1( 2)                 | 5.5( 1)     | —          | 100.0( 18) |
|                                      | <1～10>      | 57.6<49>        | 12.9<11>                  | 17.6<15>                 | 10.6< 9>    | 1.2< 1>    | 100.0< 85> |
|                                      | 11～20       | 81.3(13)        | —                         | —                        | 18.8( 3)    | —          | 100.0( 16) |
|                                      | 21～30       | 75.0( 9)        | 8.3( 1)                   | 16.7( 2)                 | —           | —          | 100.0( 12) |
|                                      | 31～40       | 76.2(16)        | —                         | 4.8( 1)                  | 19.0( 4)    | —          | 100.0( 21) |
|                                      | 41～56       | 61.5( 8)        | 15.4( 2)                  | 7.7( 1)                  | 15.4( 2)    | —          | 100.0( 13) |
| <11～56>                              | 74.2(46)    | 4.8< 3>         | 6.5< 4>                   | 14.5< 9>                 | —           | 100.0< 62> |            |
| 合 計                                  | 64.6(95)    | 9.5(14)         | 12.9(19)                  | 12.2( 18)                | 0.7( 1)     | 100.0(147) |            |
| 老<br>人<br>の<br>健<br>康                | ①           | ②               | ③                         | ④                        | ⑤           | 合 計        |            |
|                                      | とても健康       | 47.6(10)        | 4.8( 1)                   | 14.3( 3)                 | 33.3( 7)    | —          | 100.0( 21) |
|                                      | とくに病気なし     | 71.0(44)        | 8.1( 5)                   | 11.3( 7)                 | 9.7( 6)     | —          | 100.0( 62) |
|                                      | 軽い病気あり      | 67.2(39)        | 10.3( 6)                  | 12.1( 7)                 | 8.6( 5)     | 1.7( 1)    | 100.0( 58) |
|                                      | 重症の病気をもつ    | 40.0( 2)        | 20.0( 1)                  | 40.0( 2)                 | —           | —          | 100.0( 5)  |
|                                      | N. A.       | —               | 100.0( 1)                 | —                        | —           | —          | 100.0( 1)  |
| 合 計                                  | 64.6(95)    | 9.5(14)         | 12.9(19)                  | 12.2(18)                 | 0.7( 1)     | 100.0(147) |            |
| 老<br>人<br>と<br>の<br>人<br>間<br>関<br>係 | ①           | ②               | ③                         | ④                        | ⑤           | 合 計        |            |
|                                      | とてもよい       | 90.0(27)        | 6.7( 2)                   | —                        | 3.3( 1)     | —          | 100.0( 30) |
|                                      | よい          | 68.8(64)        | 10.8(10)                  | 5.4( 5)                  | 14.0(13)    | 1.1( 1)    | 100.0( 93) |
|                                      | あまりよくない     | 15.0( 3)        | 10.0( 2)                  | 55.0(11)                 | 20.0( 4)    | —          | 100.0( 20) |
|                                      | よくない        | —               | —                         | 100.0( 3)                | —           | —          | 100.0( 3)  |
|                                      | N. A.       | 100.0( 1)       | —                         | —                        | —           | —          | 100.0( 1)  |
| 合 計                                  | 64.6(95)    | 9.5(14)         | 12.9(19)                  | 12.2(18)                 | 0.7( 1)     | 100.0(147) |            |

プラス回答の比率を段階別に記号化して団地・農村比較への一助とした。

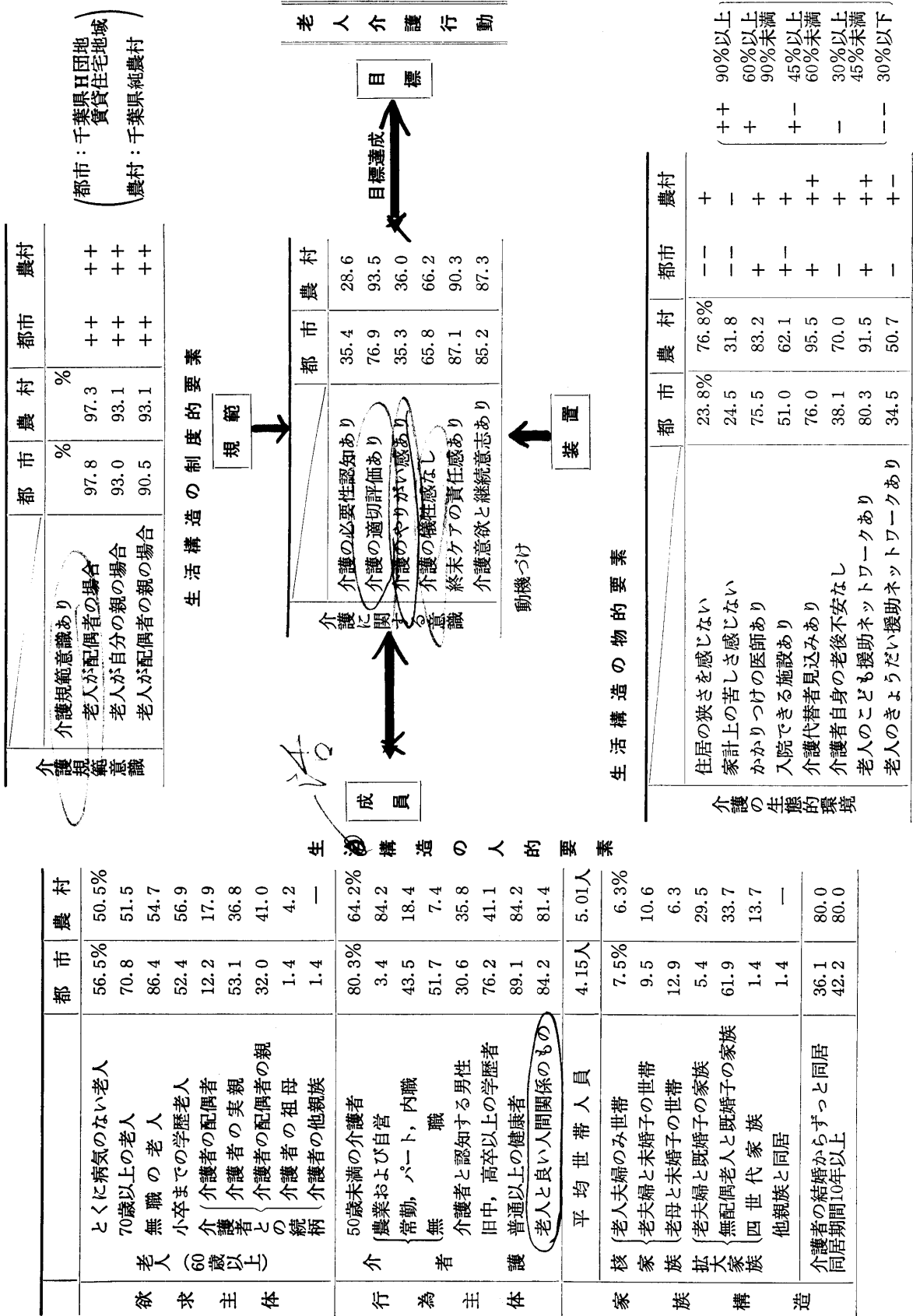
そこにみられる老人介護行動に関する生活構造の地域比較は次のようにまとめられよう。

- (1) 制度的要素としての介護規範の内面化の程度に大きい地域差はみられない。
- (2) 物的要素としての介護の生態的環境という、生活構造の装置の面では、大きい地域差が認

められた。すなわち、住居環境にみる都市団地の劣悪さを筆頭として、すべての項目において、団地は老人介護において厳しい生態的環境が析出された。

- (3) 介護行動への動機づけとなる介護意識については、トータルに見るかぎり、都市団地と農村では大差は検出されなかった。なぜ介護環境において、大きく劣る都市団地に

図2-1 介護行動に関する生活構造、調査結果による地較比域



においても、高い介護役割意識が得られたか、そこに大きい人的要素としての成員の関係が注目されるのである。生活構造における諸要素間および介護意識との力動的考察は多変量解析を待たねばならないが、一次元集計の比較から推測されるところは、次のような人的要素における介護目標への推進力が考えられるであろう。

(4) 人的要素としての介護者および老人をとりまく成員の関係は、まず、介護意識との相関が最も高いと考えられる介護者と老人の人間関係において、都市団地の方がややよい傾向を示している。

老人の健康も団地老人より高齢であるにもかかわらず、団地の方がトータルにみるかぎり病気の間が少ない。

老人が介護者の実親であるものの、比率は団地の方が高率である。

団地介護者の学歴の方が高い。

他に大きな地域差を示すものは、同居過程と同居期間であり、団地介護者は結婚よりずっと老人と同居しているものの比率が低く、同居期間も短い。

以上の各要素における地域差を概括すると、農村老人同居世帯における介護行動に関する生活構造は、直系家族周期をもつ伝統的大家族の、いわゆる老人にとっての安定したバランスをみせている。それに対し、団地老人同居世帯における介護行動に関する生活構造は、ひずみをもった不安定な構造を示している。すなわち、介護環境におけ

る資源の貧しさを、成員の人間関係と規範で補うことにより、現在の介護状況がえられていることが推測される。これは視点をかえれば、介護の義務感、規範を高くもつ介護者により、介護者と老人の人間関係のよさを支える「老人の健康状態」をはじめとするさまざまな条件において、ある水準以上の老人が介護環境という制約によりふるいをかけられたのち、同居扶養の介護をうけている現状が考察されるのである。今回の調査の射程に入らなかった単身の都市老人の存在が背景にあることを忘れてはならないし、都市老人同居家族のもろさもそこにあるといえよう。

ここに、今後高齢化社会へむけ、老人の絶対数の急激な増加と、老化による健康でない老人の増大が見とおされる将来において、同居家族の介護者の規範のみに頼ってはいは、まっとうな老人介護の目標は達成されないことは明らかである。人的要素の老人の健康状態の悪化に対応する、物的要素たる介護環境への社会福祉サービスが投入され、はじめてそのバランスの上に、介護者の役割規範意識が機能を発揮しうると考えられるのである。

昨年の国際老年学会においても世界的に注目をあつめた、日本の老人同居世帯における介護規範と人間関係の良き伝統を守り育てるためにも、家族の私的扶養の限界を超える住居環境、および老人の身近介護、病気の日常的ケアに対して、社会的扶養・社会的福祉サービスの充実が強く望まれる所以である。

老人何を目標とみるか。

### Ⅲ 介護行動モデルと重回帰分析による検証——地域別比較

#### 1 介護行動モデルの設計

前述のように、本調査研究の目的は、看護従事者を中心とする保健福祉従事者が老人を介護している家族に保健福祉的援助を行なう場合に、どのような点に留意し、援助すればよいのかを示唆しようとしている。ところで、家族においては老人も含めた家族成員の保健福祉的な介護を家族内部で行なおうとする自己介護的機能をもっているし、役割期待もされている。その機能の主な担い手を介護者とする、保健福祉従事者はこの介護者の行動のあり方に留意する必要がでてくる。そこで、私たちは介護を目標とする行動のあり方について、従事者が援助を行なううえで着眼しなければならない点をふまえ、「介護行動モデル」を試みに設計してみた。すなわち、介護を目標とする行動は、対象老人の「所与の状態」における介護の「動機」が、介護環境に伴う「負担」よりも強い場合、行動の実行となって顕在化するが、弱い場合は実行されないで潜在化していると考えた。「動機」要因としては、介護者の対象老人に対する①「介護の必要性についての認知」、そして、その②「介護の適切性についての評価」、また③「内面化されている老人介護の役割規範」、④「介護における人間関係意識」、および⑤「対象老人の介護のやりがい意識」を仮説してみた。とりわけ、事例的研究結果から「介護における情緒的關係である人間関係」は重要な動機要因とみなした。

また、対象老人の「所与の状態」を、ここでは①「健康状態」、②「老化状態」、③「生活行動能力」等でとらえ、介護に伴う「環境の条件」とし

て、①「介護の代替要員」、②「医療上の援助条件」、③「介護についての相談者」、④「介護の場としての住居条件」、⑤「家計条件」、⑥「介護者の健康状態と老後意識」等を仮設してみた。そして、これら対象老人についての「所与の状態」や「介護環境」が悪く、「負担」が大きい場合、介護者の「介護動機」がかなり高くないと、行動が実行されないだろうと考えた。従って、保健福祉従事者は、この点をふまえ「所与の状態」にある対象老人の「介護環境」を家族自身が改善することを、また「介護動機」を自己コントロールすることを援助することが必要になるだろう、と考えた。

#### 2 作業仮説とその検証方法

ここで検証しようとしている作業仮説は、従属変数を「介護行動の実行」とし、独立変数を「対象老人についての所与の状態および介護環境の条件」と「介護動機」とし、前者の条件が悪くとも、後者の介護動機が強いと、介護行動の実行があるだろうと仮説した。また、介護動機として、介護者と対象老人との人間関係は影響力の大きな変数だろうと考えた。

ところで、この作業仮説を検証するために、団地部と農村部との地域比較をすることにした。そこで、まず比較する両地域の条件をそれぞれ明らかにしてみよう。前章で述べたように、対象老人の「所与の状態」についてみると、団地部の方が農村部に比べ70歳以上の老人が多く（団地70.8%、農村51.5%）、また何らかの老化症状を訴えるものが多い（48.0%、36.0%）。なかでもぼけ（11.6

%, 7.4%), 便秘 (15.6%, 6.3%), 難聴 (14.0%, 8.4%), 視力障害 (12.2%, 5.3%) が多い。従って、介護に要する時間も長くなる (1時間以上が団地 16.4%, 農村 8.5%)。また、「介護環境の条件」は、団地部が農村部に比べ、住居の狭さを感じ (団地 76.0%, 農村 16.1%), そして家計上の苦しさを (75.5%, 68.2%), またかかりつけの医師がなく (24.5%, 16.8%), 介護の代替要員の見込みがない (24.0%, 4.5%) うえに、介護者の老後の不安もある (61.9%, 30.0%)。つまり、団地部の方が農村部に比べ、対象老人の老化もすすみ、介護する必要性も高く、しかも介護環境が悪いということである。従って、団地部の介護継続行動には、介護動機がより高いことが必要と予想されるが、前章で述べたように、全般的には介護動機においては大きな地域差異がみられなかった。しかし、これらからでは、私たちの作業仮説の是非を明らかにしえるものではなかったため、この検証は多変量分析によって行なってみようと考えた。ここでは、多変量分析の1つの手法である重回帰分析を用いることにした。

重回帰分析は、1つの従属変数と複数の独立変数の関係を分析する方法としてよく用いられるものである。回帰分析を扱う変数は、ふつう比率尺度、あるいは間隔尺度で測られ、変数の関係は線形であり、予測方程式は次のとおりに表わされる。

$$\hat{Y} = b_0 + b_1X_1 + b_2X_2 + \dots + b_nX_n$$

ここで  $\hat{Y}$  は従属変数の予測値で、 $Y$  は現実値である。 $X_i$  ( $i=1, 2, \dots, n$ ) は独立変数値の集合である。 $b_i$  は回帰係数で  $b_0$  は回帰定数である。ところで本調査結果でとらえられる変数は順位尺度や名義尺度であるので、ダミー変数 (1—0 データに変

換) を用い、回帰分析の処理が可能ないようにした。また、回帰係数は、測定単位や原点がそれぞれ異なる場合があるので、各変数の標準偏差を用いて回帰係数を標準化した標準回帰係数 Beta (いわゆるパス係数) を算出して、従属変数に対する独立変数の関連の強さをみる必要がある。

そこで、前述の作業仮説を検証するために標準回帰係数を用いた回帰分析をしようと思うが、この計算にはコンピューターを用いる必要があり、しかも私たちのコンピューター・プログラムの制約上、作業仮説の変数を 10 に絞ることになった。従属変数は「介護継続意欲と行動があり、今後も続くみとおしがある (Y)」に絞った。それは「介護継続意欲がない」、「介護継続意欲はあるが、現実的には続けられない」等はデータ数量が少なく重回帰分析に耐えるものではなかったからである。また、独立変数を次の 9 変数に絞った。

- |                           |          |          |
|---------------------------|----------|----------|
| $X_1$ ……老人との人間関係よい        | } 介護動機要因 |          |
| $X_2$ ……親族老人の介護の役割規範意識あり* |          |          |
| $X_3$ ……介護のやりがいあり         |          |          |
| $X_4$ ……介護の犠牲感あり          |          |          |
| $X_5$ ……適切な介護をしている        |          |          |
| $X_6$ ……老人介護の必要性あり        |          |          |
| $X_7$ ……老人の生活行動能力低い**     |          | } 対象要因   |
| $X_8$ ……介護者の健康状態よい        |          |          |
| $X_9$ ……介護者の代替見込みあり       |          | } 介護環境要因 |

\* これは「配偶者の親の世話」についての役割規範意識があることを示している。老人の介護の役割意識はこれに代表させた。

\*\* これは用便に関する生活行動能力 (A. D. L.) に絞って試している。

これら ( $X_1 \sim X_9$ ) を示す回答であるとき、1 という数値を与え、それ以外は 0 とするダミー変

数変換を行なった。他にも、対象老人についての「所与の状態」、「介護環境の条件」、「介護動機」を示す独立変数はあるが、あまり従属変数への大きな関連をうかがえなかつたので採用しなかつた。例えば、かかりつけの医師や入院施設の存在、介護者の老後不安、老人の健康状態、家の狭さ、家計上の苦しさ等は個別的なケースは別にして、相関分析により集的に変数への関連をうかがえなかつたので用いなかつた。

### 3 重回帰分析の結果

「介護継続意欲と介護継続のみとおしがある」を従属変数とする回帰方程式をたてようと思うが、独立変数相互もかなりの内部相関をもつ可能性があるため、その関連上の順序を知るために、それ以外の変数の中から従属変数を選び、表3—1, 2の相関マトリックスを参考にし、さまざまな変数を組み合わせて次のような回帰方程式を設定してみた。

[団地部]

$$X_9 = E_{10}$$

$$X_8 = E_9$$

$$X_7 = E_8$$

$$X_6 = \beta_{65} \cdot X_5 + \beta_{67} \cdot X_7 + E_7$$

$$X_5 = \beta_{52} \cdot X_2 + \beta_{53} \cdot X_3 + \beta_{56} \cdot X_6 + E_6$$

$$X_4 = \beta_{41} \cdot X_1 + \beta_{42} \cdot X_2 + \beta_{47} \cdot X_7 + E_5$$

$$X_3 = \beta_{31} \cdot X_1 + \beta_{32} \cdot X_2 + \beta_{35} \cdot X_5 + \beta_{36} \cdot X_6 + E_4$$

$$X_2 = \beta_{24} \cdot X_4 + \beta_{25} \cdot X_5 + \beta_{29} \cdot X_9 + E_3$$

$$X_1 = \beta_{12} \cdot X_2 + \beta_{13} \cdot X_3 + \beta_{14} \cdot X_4 + E_2$$

$$\hat{Y} = \beta_1 \cdot X_1 + \beta_2 \cdot X_2 + \beta_3 \cdot X_3 + \beta_4 \cdot X_4 + \beta_5 \cdot X_5$$

$$+ \beta_6 \cdot X_6 + \beta_7 \cdot X_7 + \beta_8 \cdot X_8 + \beta_9 \cdot X_9 + E_1$$

$$\beta_{ij} \text{ (偏回帰係数), } E_m \text{ (外部攪乱)}$$

[農村部]

$$X_9 = R_{10}$$

$$X_8 = R_9$$

$$X_7 = R_8$$

$$X_6 = \theta_{63} \cdot X_3 + \theta_{65} \cdot X_5 + \theta_{67} \cdot X_7 + \theta_{68} \cdot X_8 + R_7$$

$$X_5 = \theta_{51} \cdot X_1 + \theta_{56} \cdot X_6 + \theta_{57} \cdot X_7 + R_6$$

$$X_4 = \theta_{41} \cdot X_1 + \theta_{42} \cdot X_2 + \theta_{43} \cdot X_3 + \theta_{47} \cdot X_7 + R_5$$

$$X_3 = \theta_{31} \cdot X_1 + \theta_{32} \cdot X_2 + \theta_{36} \cdot X_6 + \theta_{37} \cdot X_7 + R_4$$

$$X_2 = \theta_{21} \cdot X_1 + \theta_{23} \cdot X_3 + \theta_{24} \cdot X_4 + \theta_{29} \cdot X_9 + R_3$$

$$X_1 = \theta_{12} \cdot X_2 + \theta_{13} \cdot X_3 + \theta_{14} \cdot X_4 + \theta_{15} \cdot X_5 + \theta_{17}$$

$$\cdot X_7 + \theta_{19} \cdot X_9 + R_2$$

$$\hat{Y} = \theta_1 \cdot X_1 + \theta_2 \cdot X_2 + \theta_3 \cdot X_3 + \theta_4 \cdot X_4 + \theta_5 \cdot X_5$$

$$+ \theta_6 \cdot X_6 + \theta_7 \cdot X_7 + \theta_8 \cdot X_8 + \theta_9 \cdot X_9 + R_1$$

$$\theta_{ki} \text{ (偏回帰係数), } R_n \text{ (外部攪乱)}$$

$B_{ij}$ ,  $\theta_{ki}$  の偏回帰係数は、測定単位や原点がそれぞれ異なるので、標準化して標準偏回帰係数 Beta を算出したが、表3—3~表3—16の中での算出結果をまとめてみた。

まず団地部について従属変数「介護継続意欲と行動があり、今後も続くみとおしある ( $\hat{Y}$ )」に関連のある全独立変数  $X_i$  の標準偏回帰係数 Beta をみてみよう。

$$\begin{aligned} \hat{Y} = & -0.28021 + 0.46353 (0.35832) \cdot X_1 \\ & + 0.30977 (0.23537) \cdot X_2 + 0.11169 \\ & (0.07657) \cdot X_3 - 0.08462 (-0.08343) \\ & \cdot X_4 + 0.05058 (0.05200) \cdot X_5 \\ & + 0.10487 (0.10487) \cdot X_6 - 0.08913 \\ & (-0.07737) \cdot X_7 + 0.18385 (0.11976) \\ & \cdot X_8 + 0.12896 (0.13256) \cdot X_9 \\ & \text{( ) 内は標準偏回帰係数} \\ & \text{寄 与 率} = 0.33038 \\ & \text{重相関係数} = 0.57478 \\ & \text{標準誤差} = 0.40528 \end{aligned}$$

この式が示すように団地部では、従属変数 ( $\hat{Y}$ )



表 3-1 介護要因に関する相関マトリックス (団地)

|                | X <sub>6</sub> | X <sub>9</sub> | X <sub>2</sub> | X <sub>4</sub> | X <sub>7</sub> | X <sub>6</sub> | X <sub>5</sub> | X <sub>3</sub> | X <sub>1</sub> | Y         |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------|
|                | 介護者の健康状態よい     | 介護者代替見込みあり     | 老人介護の役割規範意識あり  | 介護の犠牲感あり       | 老人の生活行動能力低下    | 介護の必要性あり       | 適切な介護をしている     | 介護のやりがいあり      | 老人との人間関係よい     | 介護継続意欲と行動 |
| X <sub>6</sub> | 1.00000        | 0.06530        | -0.09039       | 0.01545        | 0.05728        | -0.19827       | -0.19863       | -0.26925       | -0.09528       | 0.01554   |
| X <sub>9</sub> |                | 1.00000        | 0.13762        | -0.11744       | -0.03063       | -0.10929       | -0.04253       | 0.14132        | 0.11999        | 0.22509   |
| X <sub>2</sub> |                |                | 1.00000        | -0.25157       | -0.06476       | -0.03383       | 0.20527        | 0.16088        | 0.16439        | 0.34714   |
| X <sub>4</sub> |                |                |                | 1.00000        | 0.16226        | 0.05030        | 0.00000        | 0.00000        | -0.27330       | -0.26157  |
| X <sub>7</sub> |                |                |                |                | 1.00000        | 0.22155        | 0.13068        | 0.13878        | -0.06064       | -0.08442  |
| X <sub>6</sub> |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.42772        | 0.24448        | -0.01964       | 0.07126   |
| X <sub>5</sub> |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.28091        | 0.06725        | 0.15124   |
| X <sub>3</sub> |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.16500        | 0.18956   |
| X <sub>1</sub> |                |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.44308   |
| Y              |                |                |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000   |

表 3-2 介護要因に関する相関マトリックス (農村)

|                | X <sub>6</sub> | X <sub>9</sub> | X <sub>2</sub> | X <sub>4</sub> | X <sub>7</sub> | X <sub>6</sub> | X <sub>5</sub> | X <sub>3</sub> | X <sub>1</sub> | Y         |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------|
|                | 介護者の健康状態よい     | 介護者代替見込みあり     | 老人介護の役割規範意識あり  | 介護の犠牲感あり       | 老人の生活行動能力低下    | 介護の必要性あり       | 適切な介護をしている     | 介護のやりがいあり      | 老人との人間関係よい     | 介護継続意欲と行動 |
| X <sub>6</sub> | 1.00000        | 0.17441        | 0.09997        | -0.13456       | -0.02722       | 0.16928        | -0.01221       | 0.04150        | 0.09825        | 0.10378   |
| X <sub>9</sub> |                | 1.00000        | 0.24030        | -0.03282       | -0.01295       | -0.00411       | 0.03833        | -0.03652       | 0.22432        | 0.14867   |
| X <sub>2</sub> |                |                | 1.00000        | -0.13798       | 0.04898        | -0.02823       | -0.01514       | -0.10622       | 0.38428        | 0.12402   |
| X <sub>4</sub> |                |                |                | 1.00000        | 0.07325        | -0.10140       | 0.12891        | -0.03007       | 0.04724        | 0.12891   |
| X <sub>7</sub> |                |                |                |                | 1.00000        | 0.31760        | 0.25920        | 0.24569        | -0.02070       | 0.06978   |
| X <sub>6</sub> |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.45330        | 0.41886        | 0.09753        | 0.35303   |
| X <sub>5</sub> |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.28353        | 0.19364        | 0.44767   |
| X <sub>3</sub> |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.16654        | 0.35575   |
| X <sub>1</sub> |                |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000        | 0.54656   |
| Y              |                |                |                |                |                |                |                |                |                | 1.00000   |

に対し、介護動機要因の「老人との人間関係よい ( $X_1$ )」、「親族老人介護の役割規範意識あり ( $X_2$ )」、「老人介護の必要性あり ( $X_6$ )」がそれぞれ順に標準偏回帰係数 0.35832, 0.23537, 0.10487 の関連がみられ、介護環境要因では「介護者代替見込みあり ( $X_9$ )」、「介護者の健康状態よい ( $X_8$ )」が順に 0.13256, 0.11976 の関連であり、対象要因の「老人の生活行動能力低い ( $X_7$ )」は  $-0.07737$  と係数値は低い負の関連がみられた。団地部ではとりわけ「老人との人間関係」や「親族老人の介護の役割規範意識」が「介護継続意欲と介護行動の継続のみとおしがある」に与える影響は大きい (表 3—3)。すなわち、団地部での老人の介護継

続行動は、動機要因として介護者が親族老人の介護の役割規範意識をもち、対象老人に介護の必要性を認め、そして人間関係がよいことが重要な条件であり、環境要因として介護者の健康状態がよく、介護代替者の見込みがあることが重要である。

ところで、団地部での老人とのよい人間関係は、介護に犠牲感がないことや介護にやりがいを感じていることと関連がある (表 3—4)。そして、この介護の犠牲感、親族老人介護の役割規範意識をもちながらも、人間関係が悪く、生活行動能力の低い老人を介護していると感じやすく、また介護のやりがいは老人介護に役割意識をもち、人間関係のよい対象老人に介護の必要性を認め、適切な

表 3—3 介護要因別にみた「介護継続意欲と介護継続のみとおし」に関する相関係数、標準偏回帰係数 (団地)

|                        | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta | (4)<br>Beta |
|------------------------|----------|-------------|-------------|-------------|
| $X_9$ 介護者代替見込みあり       | .22509   |             | .15390      | .13256      |
| $X_8$ 介護者の健康状態よい       | .01554   |             |             | .11976      |
| $X_7$ 老人の生活行動能力低い (用便) | -.08442  |             |             | -.07737     |
| $X_6$ 老人介護の必要性あり       | .07126   |             | .10461      | .10487      |
| $X_5$ 適切な介護をしている       | .15124   |             |             | .05200      |
| $X_4$ 介護の犠牲感あり         | -.26157  |             |             | -.08343     |
| $X_3$ 介護のやりがいあり        | .18956   |             |             | .07657      |
| $X_2$ 老人介護の役割規範意識あり    | .34714   | .28192      | .26656      | .23537      |
| $X_1$ 老人との人間関係よい       | .44308   | .39673      | .38284      | .35832      |
| $R^2$ (寄与率)            |          | .27365      | .30426      | .33038      |
| df                     |          | 2/144       | 4/142       | 9/137       |
| F 比                    |          | 27.12554*   | 15.52474*   | 7.51029*    |

\*  $P < 0.01$

表 3—4 「老人との人間関係よい ( $X_1$ )」に関する相関係数、標準偏回帰係数 (団地)

|                     | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|---------------------|----------|-------------|-------------|
| $X_4$ 介護の犠牲感あり      | -.27330  | -.27330     | -.25422     |
| $X_3$ 介護のやりがいある     | .16500   | .16500      | .15280      |
| $X_2$ 老人介護の役割規範意識あり | .16439   |             | .07586      |
| $R^2$ (寄与率)         |          | .10192      | .10716      |
| df                  |          | 2/144       | 3/143       |
| F 比                 |          | 8.17116*    | 5.72118*    |

\*  $P < 0.01$

老人の介護行動に関する研究

表 3-5 「介護の犠牲感あり ( $X_4$ )」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (団地)

|                        | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|------------------------|----------|-------------|-------------|
| $X_7$ 老人の生活行動能力低い (用便) | .16226   |             | .13497      |
| $X_2$ 老人介護の役割規範意識ある    | -.25157  | -.21238     | -.20478     |
| $X_1$ 老人との人間関係よい       | -.27330  | -.23839     | -.23145     |
| $R^2$ (寄与率)            |          | .11858      | .13668      |
| $df$                   |          | 2/144       | 3/143       |
| $F$ 比                  |          | 9.68662*    | 7.54627*    |

\*  $P < 0.01$

表 3-6 「介護のやりがいがある ( $X_3$ )」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (団地)

|                     | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|---------------------|----------|-------------|
| $X_6$ 介護の必要性あり      | .24448   | .17652      |
| $X_5$ 適切な介護をしている    | .28091   | .17383      |
| $X_2$ 老人介護の役割規範意識ある | .16088   | .10832      |
| $X_1$ 老人との人間関係よい    | .16500   | .13897      |
| $R^2$ (寄与率)         |          | .13234      |
| $df$                |          | 4/142       |
| $F$ 比               |          | 5.41482*    |

\*  $P < 0.01$

表 3-7 「老人の介護の役割規範意識ある ( $X_2$ )」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (団地)

|                  | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|------------------|----------|-------------|-------------|
| $X_9$ 介護者代替見込みあり | .13762   |             | .11866      |
| $X_5$ 適切な介護をしている | .20527   | .20527      | .21031      |
| $X_4$ 介護の犠牲感あり   | -.25157  | -.25157     | -.23764     |
| $R^2$ (寄与率)      |          | .10542      | .11928      |
| $df$             |          | 2/144       | 3/143       |
| $F$ 比            |          | 8.48494*    | 6.45586*    |

\*  $P < 0.01$

表 3-8 「介護の必要性あり ( $X_6$ )」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (団地)

|                        | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|------------------------|----------|-------------|
| $X_7$ 老人の生活行動能力低い (用便) | .22155   | .16853      |
| $X_5$ 適切な介護をしている       | .42772   | .40570      |
| $R^2$ (寄与率)            |          | .21086      |
| $df$                   |          | 2/144       |
| $F$ 比                  |          | 19.23910*   |

\*  $P < 0.01$

表 3—9 「適切な介護をしている (X<sub>5</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (団地)

|                            | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|----------------------------|----------|-------------|
| X <sub>6</sub> 介護の必要性あり    | 0.42772  | 0.39698     |
| X <sub>2</sub> 老人介護の役割意識あり | 0.20527  | 0.19414     |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいあり   | 0.28091  | 0.15263     |
| R <sup>2</sup> (寄与率)       |          | 0.25252     |
| df                         |          | 3/143       |
| F 比                        |          | 16.10328*   |

\* P<0.01

表 3—10 介護要因別にみた「介護継続意欲と介護継続みとおし」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta | (4)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|-------------|-------------|
| X <sub>9</sub> 介護者代替見込みあり       | .14867   |             |             | .04710      |
| X <sub>8</sub> 介護者の健康状態よい       | .10378   |             |             | .03543      |
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | .06978   |             |             | -.08264     |
| X <sub>6</sub> 介護の必要性あり         | .35303   |             | .12742      | .15763      |
| X <sub>5</sub> 適切な介護をしている       | .44767   | .35516      | .25773      | .24942      |
| X <sub>4</sub> 介護の犠牲感あり         | .12891   |             |             | .10732      |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいあり        | .35575   |             | .15290      | .16795      |
| X <sub>2</sub> 老人介護の役割規範意識あり    | .12402   |             |             | -.01494     |
| X <sub>1</sub> 老人との人間関係よい       | .54656   | .47779      | .45876      | .43983      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .42013      | .46549      | .48434      |
| df                              |          | 2/92        | 4/90        | 9/85        |
| F 比                             |          | 33.32835*   | 19.59499*   | 8.87089*    |

\* P<0.01

表 3—11 「老人との人間関係よい (X<sub>1</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|-------------|
| X <sub>9</sub> 介護者代替見込みあり       | .22432   |             | .13174      |
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | -.02070  |             | -.13761     |
| X <sub>5</sub> 適切な介護をしている       | .19364   |             | .15885      |
| X <sub>4</sub> 介護の犠牲感あり         | .04724   |             | .10222      |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいある        | .16654   | .20972      | .20544      |
| X <sub>2</sub> 老人介護の役割規範意識ある    | .38428   | .40656      | .39769      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .19116      | .25503      |
| df                              |          | 2/92        | 6/88        |
| F 比                             |          | 10.87147*   | 5.02089*    |

\* P<0.01

老人の介護行動に関する研究

表 3-12 「老人の介護の役割規範意識ある (X<sub>2</sub>)」に関する相関係数, 標準回帰係数 (農村)

|                           | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|---------------------------|----------|-------------|
| X <sub>9</sub> 介護者代替見込みあり | .24030   | .14184      |
| X <sub>4</sub> 介護の犠牲感あり   | -.13798  | -.15679     |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいある  | -.10622  | -.17042     |
| X <sub>1</sub> 老人との人間関係よい | .38428   | .38825      |
| R <sub>2</sub> (寄与率)      |          | .22302      |
| df                        |          | 4/90        |
| F比                        |          | 6.45811*    |

\*  $P < 0.01$

表 3-13 「介護の犠牲感あり (X<sub>4</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|-------------|
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | .07325   |             | .11245      |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいある        | -.03007  |             | -.10489     |
| X <sub>2</sub> 老人介護の役割規範意識ある    | -.13798  | -.18318     | -.21164     |
| X <sub>1</sub> 老人との人間関係よい       | .04724   | .11763      | .14837      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .03083      | .04760      |
| df                              |          | 2/92        | 4/90        |
| F比                              |          | 1.46338     | 1.12457     |

表 3-14 「介護のやりがいある (X<sub>3</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | .24569   | .14894      |
| X <sub>6</sub> 介護の必要性あり         | .41886   | .34629      |
| X <sub>2</sub> 老人介護の役割規範意識あり    | -.10622  | -.18296     |
| X <sub>1</sub> 老人との人間関係よい       | .16654   | .20615      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .23541      |
| df                              |          | 4/90        |
| F比                              |          | 6.92749*    |

\*  $P < 0.01$

表 3-15 「介護の必要性あり (X<sub>6</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta | (3)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|-------------|
| X <sub>8</sub> 介護者の健康状態よい       | .16928   |             | .16646      |
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | .31760   |             | .16783      |
| X <sub>5</sub> 適切な介護をしている       | .45330   | .36378      | .33353      |
| X <sub>3</sub> 介護のやりがいある        | .41886   | .31572      | .27615      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .29715      | .34834      |
| df                              |          | 2/92        | 4/90        |
| F比                              |          | 19.44745*   | 12.02734*   |

\*  $P < 0.01$

表 3-16 「適切な介護をしている (X<sub>5</sub>)」に関する相関係数, 標準偏回帰係数 (農村)

|                                 | (1)<br>r | (2)<br>Beta |
|---------------------------------|----------|-------------|
| X <sub>6</sub> 介護の必要性あり         | .45330   | .39430      |
| X <sub>1</sub> 人間関係よい           | .19364   | .15803      |
| X <sub>7</sub> 老人の生活行動能力低い (用便) | .25920   | .13724      |
| R <sup>2</sup> (寄与率)            |          | .2535       |
| df                              |          | 4/96        |
| F 比                             |          | 7.64078*    |

\* P<0.01

介護をしている場合に感じやすいといえる (表 3-5, 6)。親族老人の介護の役割規範意識については介護に犠牲感がなく, 適切な介護をしており, 介護代替者もいるともちやすい意識となっている (表 3-7)。介護の必要性の認知は老人の生活行動能力が低かったり, 適切な介護をしていると, 感じやすい (表 3-8)。以上を図にまとめると図 3-1 のようになる。

一方, 農村部ではこの式のように従属変数 (Ŷ) に対し, 介護動機要因の「老人との人間関係よい

$$\hat{Y} = 0.12529 + 0.45669(0.43983) \cdot X_1 - 0.01631(-0.01494) \cdot X_2 + 0.28545(0.16795) \cdot X_3 + 0.12131(0.10732) \cdot X_4 + 0.24942(0.24942) \cdot X_5 + 0.18600(0.15763) \cdot X_6 - 0.09211(-0.08264) \cdot X_7 + 0.04836(0.3543) \cdot X_8 + 0.06116(0.04710) \cdot X_9$$

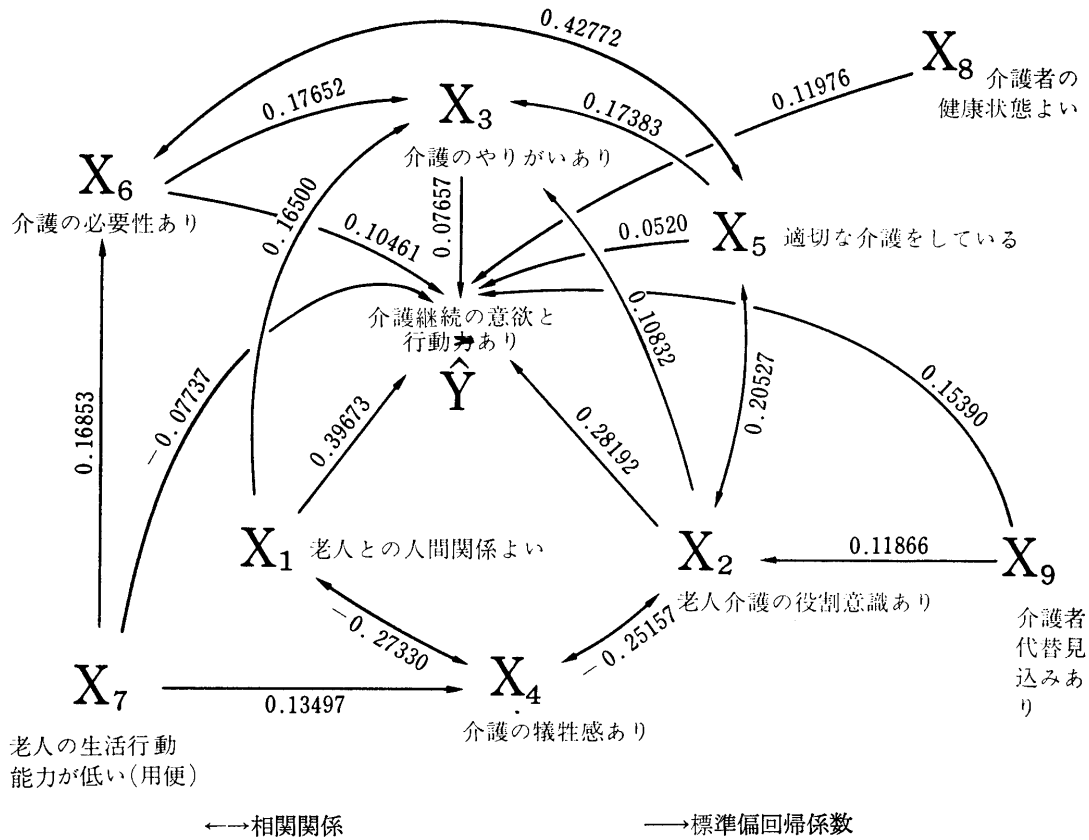
寄与率 = 0.48434  
重相関係数 = 0.69595  
標準誤差 = 0.37787

(X<sub>1</sub>)」, 「適切な介護をしている (X<sub>5</sub>)」, 「介護のやりがいあり (X<sub>3</sub>)」, 「介護の必要性あり (X<sub>6</sub>)」がそれぞれ順に標準偏回帰係数 0.43983, 0.24942,

0.16795, 0.15763 の関連がみられ, 介護環境要因の「介護者代替見込みあり (X<sub>9</sub>)」, 「介護者の健康状態よい (X<sub>8</sub>)」との関連が少なく, 対象要因の「老人の生活行動能力低い (X<sub>7</sub>)」も関連性が低いが負の関連となっている (表 3-10)。すなわち, 農村部では老人の介護継続行動は, 対象要因, 介護環境要因よりも動機要因に強く関連し, 人間関係のよい対象老人に介護の必要性を認め, 適切な介護をし, そのことにやりがいを感じていることが重要な条件となっている。このように農村部では, 団地部の場合のように親族老人の介護の役割規範意識が介護継続意欲や行動に直接大きな影響をもったり, 介護者の健康状態や介護者の代替見込み等の介護環境要因が介護継続や行動に直接関連することはあまりない。また, 介護者と老人との人間関係のよいことが介護の継続意欲や行動に直接大きな関連をもっていることは団地部と共通するところであるが, 介護のやりがい, 介護の適切性が介護の継続意欲や行動に直接的な関連をもっていることは農村部に特徴的なことである。

農村部では, 親族老人の介護の役割規範意識をもち, 介護のやりがいがあり, 介護が適切で, 介護者の代替見込みがあると, 老人との人間関係はよく, また介護に犠牲感がみられても人間関係は悪くならないが, 老人の行動能力が低いと老人と

図 3-1 団地部における介護要因連関



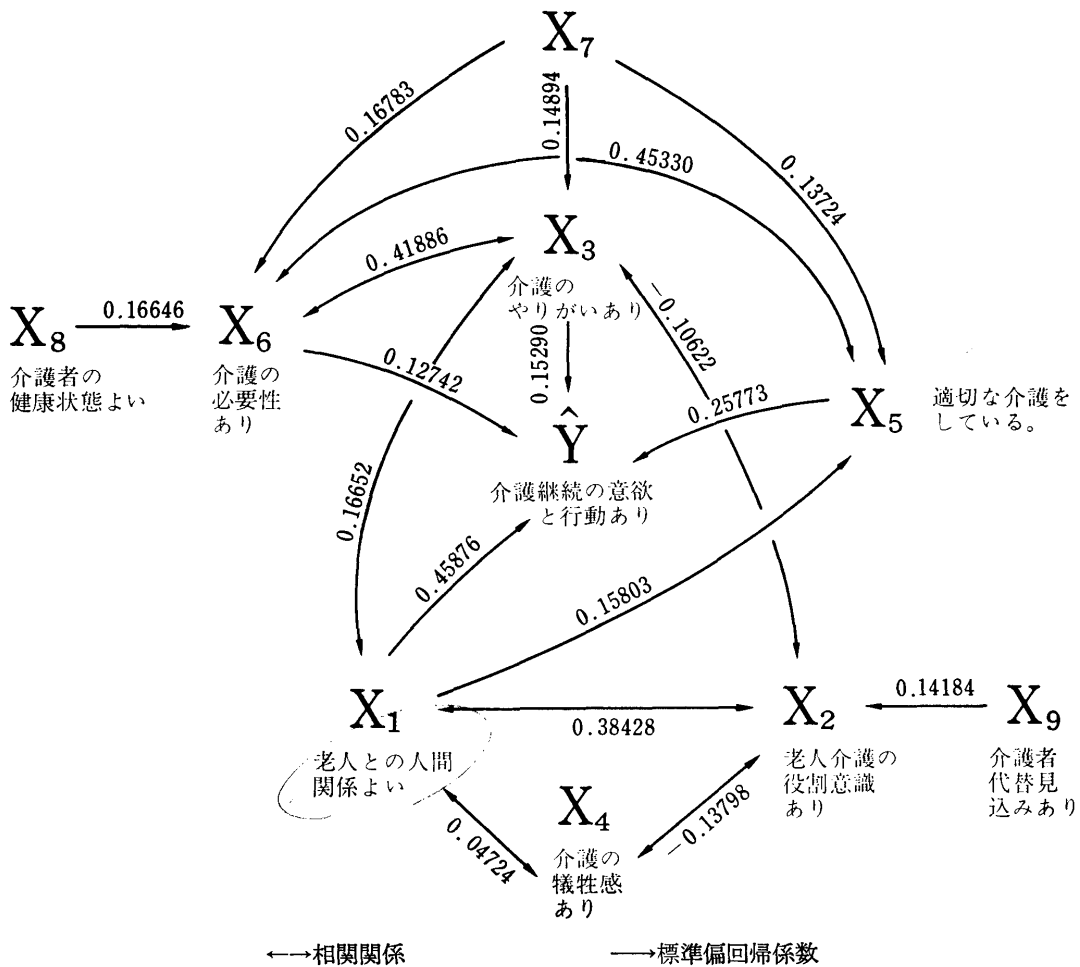
の人間関係は悪くなる傾向を示している（表 3-11）。また、老人との人間関係に影響する親族老人の介護規範意識は、老人との人間関係がよかったり、介護者の代替見込みがあると高まるが、介護に犠牲感があったり、介護にやりがいがあるとむしろ低くなる傾向を示している（表 3-12）。ところで、この介護の犠牲感、農村部では対象老人の生活能力が低く、しかも親族老人の介護の役割規範意識がなく、人間関係が悪いと感じやすい（表 3-13）。一方、介護のやりがいについては、対象老人の生活行動能力が低く、介護の必要性を認め、人間関係がよく、親族老人の役割規範意識をもっていない方が感じやすい傾向にある（表 3-14）。このように農村部では、親族老人の役割規範意識は、老人との人間関係にはよい影響を与え、

介護にも犠牲感を生みださないし、介護のやりがいを生みだす条件にもなっていない。次に、介護の必要性の認知については、対象老人の生活行動能力が低く、適切な介護をしていて、介護にやりがいを感じていたり、介護者の健康状態がよいと意識されやすい（表 3-15）。また、介護の適切さの評価については、老人の生活行動能力が低く、介護の必要性を認め、対象老人との人間関係がよいと、そのように意識される傾向にある（表 3-16）。以上のことを図示すると、図 3-2 のようになる。

これらの介護要因に関する団地部と農村部の重回帰分析の比較を通じていえることは、まず①概して老人と介護者との人間関係が老人介護継続意欲や行動に大きな影響を与えるといえる。第 2 に

図3-2 農村部における介護要因関連

老人の生活行動能力低い(用便)



②介護環境条件の悪い団地部では、農村部に比べ「介護者の健康状態」,「介護代替者の見込み」などの介護環境要因が介護継続意欲や行動に直接影響を与える傾向が強い。逆に、③農村部では介護環境条件が団地部よりよいためか、介護継続意欲や行動は介護環境要因に直接影響をうけることは少ないといえる。④むしろ、農村部介護の必要性の認知、介護の適切性の評価、介護のやりがいといった要因に直接影響をうける。一方、⑤団地部での老人介護継続意欲や行動は介護のやりがい、介護の適切さのような介護動機要因よりも、親族老人の介護役割規範意識に動機づけられている。

また、⑥団地部では、介護環境が悪く、介護の犠牲感が強いいためか、その犠牲感が老人との人間関係に悪影響をもっているが、農村部ではそのような悪影響はみられなかった。⑦団地部では、介護環境条件などが悪いためか、老人の介護継続意欲と行動には、老人介護の役割規範意識が動機として動員されており、それが介護のやりがいを生みだす一要因にもなっているが、介護の犠牲感を生みだす要因にもなっている。

#### 4 中間的まとめ

私たちの介護行動に関する作業仮説は、対象老



人についての「所与の状態と介護環境条件」が悪くとも、「介護動機」が強いと、介護継続行動がみられるだろうとした。ところで、このモデルによると、団地部は農村部に比べて介護環境が悪いので、介護動機がより高いことが必要と予想されるが、しかし全般的に介護動機意識の地域差はなく、これからだけでは結論を出せなかった。そこで、多変量分析の1つの手法としての重回帰分析を行ない、この作業仮説の是非を確かめようとした。団地部および農村部とも、データ数量の制約から、「対象老人の介護継続意欲と行動をとり、今後もつづけるみとうしのある」サンプルだけで重回帰分析すると、次のことがわかった。まず、地域差異に関係なく、老人と介護者との人間関係は介護行動に大きな関連をもっていることが検証できた。第2に、団地部は介護環境が悪いので、その条件の差異は介護継続意欲や行動に直接影響を与え、しかも介護のやりがいや介護の適切さといった動機要因よりむしろ老人介護の役割規範意識を動機要因として動員する。そのため、この役割規範意識は介護の犠牲感を生み、人間関係に悪影響を与えるが、一方で介護のやりがいをも生みだし、人間関係によい影響を与える面もみられる。第3に、

農村部では介護環境がよいので、その条件の差異が介護継続意欲や行動に直接影響を与えないし、しかも動機要因として老人介護の役割規範意識を動員しないで、介護の適切さ、介護のやりがい要因が影響力をもっている。そのため、老人介護の役割規範意識は介護の犠牲感も生まないが、介護のやりがいも生まない。

これらのことから推論して、介護条件の悪い条件にあるところは、動機要因として介護の役割規範意識が動員され、介護継続意欲と行動継続のみとうしを高めるが、条件のよいところは役割規範意識ではなく、介護の適切さや介護のやりがいが主に動員されて、介護継続意欲が高められ行動が行なわれる、と考えられる。つまり、介護環境が悪くなると、以前の介護動機要因が強められるというよりも、他の介護動機要因が補完的(Complementary)に動員され、介護動機の全体として行動実行の水準に保たれようとするのではないかと思われる。しかし、この前提として、老人と介護者の人間関係がよいことが必要である。これがよくないとこのような適応機能は働かないのではないかと思われる。

#### IV ま と め

私たちは団地部(147名)と農村部(95名)との地域比較と家族類型別比較によりながら、いくつかの作業仮説を検証しようとしてきた。検証方法として地域別、家族類型別の1次元および2次元集計、名義尺度、順位尺度のダミー変数化による重回帰分析、事例分析を用い、作業仮説の各変数間の相関性から因果推論を行なおうとした。

本調査の作業仮説命題を構成する要因(変数)

は、介護者の介護を目標とした行動に関する動機要因と、対象および環境要因の大きく2つに分かれる。まず、介護行動の動機は、①介護者の対象老人についての介護の必要性の認知および②介護の適切性の評価、③内面化されている老人介護規範、④介護における人間関係、⑤対象老人の介護のやりがい等の要因に影響をうけるもの、と仮説した。とりわけ、事例からみて、老人と介護者と

の人間関係から影響をうけることが大きい、と仮説していた。

次に、介護行動を行なう対象および環境要因として①対象老人の健康状態、および生活行動能力、②介護者の健康状態、老後意識、③介護に要する時間、④介護の代替要員、⑤医療的援助条件、⑥介護についての相談者、⑦介護の場としての住居条件、⑧家計条件等があり、これらの要因が介護動機の行動への顕在化、あるいは潜在化に影響を与えると、仮説した。例えば、介護行動を行なう対象および環境条件の悪いところは、介護動機の行動への顕在化がさまたげられるだろう。従って、対象および環境条件の悪いところは、かなり介護動機が高くないと、行動となって顕在化しないだろう、と考えた。

ところで、これらの作業仮説は調査結果の相関分析および回帰分析から次のことが明らかにされた。すなわち、まず第1に介護行動に影響の大きい動機要因、対象および環境要因としては、「人間関係」、「介護役割意識」、「介護のやりがい」、「介護の適切性」、「介護の必要性認知」、「介護者の代替見込み」、「対象老人の生活行動能力」があげられる。とりわけ、「人間関係」の介護行動に与える影響力は大きい。しかし、これらの説明変数全体での被説明変数の介護意欲や行動に対する寄与率が50%弱であるため、他の変数の索出も必要と思われる。

第2に、介護の環境条件が悪い場合、動機要因として介護の役割規範意識が動員され、条件のよい場合は介護の適切さや介護のやりがいが動員され、介護継続意欲が高められ、行動が行なわれると考えられる。つまり、介護環境が悪くなると、以前の介護動機要因がかなり強められるというよりも、このように他の介護動機要因が補完的に動

員され、介護動機の全体として以前の行動実行の水準に保たれようとするのではないかと考えられた。もちろん、この場合も介護の人間関係がよいことが前提である。具体的にいえば、団地部は農村部に比べて「住居空間の狭さ」、「介護代替者の見込みなし」、「介護者の老後不安あり」、「援助のネットワークなし」など、条件が悪いので、介護継続意欲や行動は、この介護環境の直接的な影響をうけやすく、また動機要因として介護の適切さや介護のやりがいというよりは介護の役割規範意識が動員されている。もちろん、老人との人間関係がよいことは前提であるということである。

ところで、もしこのことが十分検証されるなら、団地部では老人介護の役割規範意識を強くもつ介護者だけしか介護をしないし、人柄がよく人間関係のたもっている老人だけしか介護の対象にされないと考えられる。このような状況にめぐまれない老人は、単身生活、施設生活を余儀なくされるだろう。団地部の介護の対象老人が介護者の義理の親より実親が多いのはそのせいであろうか（団地53.1%、農村~~25.9%~~<sup>26.8%</sup>）。保健福祉サービスの充実によって、限られた介護条件になれば介護行動が行なわれないような介護環境は改められるべきであろう。また、データ数量が少ないため、家族類型別の重回帰分析はできないで、相関分析、事例分析だけに終わったが、無配偶の夫の父、母親を嫁が、祖父・母を孫が、また無配偶の親を未婚子女が介護している場合の介護行動の難しさが明らかになった。このことによって保健福祉サービスは家族類型の特性に相応した形態がくふうされる必要があると示唆されるが、この点においてはまだ検討すべき点が残っているので、確かな言及は他日に期したい（この研究のアイデアは宗像が都立老人総合研究所流動研究員在籍中に行なわれ

老人の介護行動に関する研究

た看護研究室での討論の中で生まれてきたもので、業改良普及所職員および新宿区健康センター・新あることを付記しておきたい。また、調査にあたり、津，加藤，横田氏にはひとかたならずお世話になっては千葉市保健婦中村栄子氏，千葉県印旛郡農

業改良普及所職員および新宿区健康センター・新津，加藤，横田氏にはひとかたならずお世話になった。ここで深く謝意を申し上げたい。

I 執筆担当／宗像，高橋，中島

II 執筆担当／高橋博子

III 執筆担当／宗像恒次

IV 執筆担当／宗像恒次

調査企画担当／宗像，高橋，中島

調査実施担当／中島紀恵子

(1979・8・7 受理)

老人の介護に関する意識調査

昭和53年4月

ごあいさつ

このたび、日本看護協会では介護についての調査を実施することになりました。この調査は介護にあたる方の実態を明らかにし、その改善対策の基礎資料とするものです。

ご回答はすべて統計として利用する以外、他に用いることはございません。

お忙しいなかを恐縮ですが、皆様のご協力をお願い致します。

記入上のお願い

老人（60才以上）のお世話をしている方がご記入下さい。

お世話をしている方が老人である場合も該当します。

社団法人 日本看護協会  
千葉大学看護学部基礎保健学講座

## 老人の介護行動に関する研究

Q1. ご家族についておたずねします。適当な番号を○で囲み、記入者は◎印、主な養得者に○印をして下さい。なお、現在就学中の方は学歴欄の該当する番号に×印をつけて下さい。農業者など年収しかわからない方は、年収を12でわった額に該当するものを○印して下さい。

| 世帯番号 | 記入者◎印 | 世帯主との続柄                                                                                      | 男女の別 | 生まれた年月日                                                                          | 学 歴                                                     | 現在の職業                                              | 月 収 入                                                 | 主たる養得者○印 | 加入健康保険                                                             |
|------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 1    |       | 世帯主本人                                                                                        | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 氏名                                                                                           | 女    |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 2    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 3    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 4    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 5    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 6    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 7    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 8    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 9    |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |
| 10   |       | 1. 夫 7. 子ども<br>2. 妻 8. 子どもの配偶者<br>3. 父 9. きょうだい<br>4. 母 10. その他の親族<br>5. 祖父母 11. 同居人<br>6. 孫 | 男    | 年 月 日<br>明治<br>大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 1. 未就学<br>2. 小学校<br>3. 中学・旧高小<br>4. 高校・旧中<br>5. 専門・大学以上 | 1. 農業など<br>2. 自営業<br>3. 常勤雇用者<br>4. 臨時・内職<br>5. 無職 | 1. 無し<br>2. 5万未満<br>3. 5～10万<br>4. 10～20万<br>5. 20万以上 |          | 1. 国民保険<br>2. 組合保険<br>3. 共済組合<br>4. 政府管掌保険<br>5. 日雇健康保険<br>6. 生活保護 |
|      |       | 女                                                                                            |      |                                                                                  |                                                         |                                                    |                                                       |          |                                                                    |

|     |  |      |
|-----|--|------|
| 地域名 |  | 対象者名 |
|-----|--|------|

|        |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|
| 老人票の枚数 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|--------|---|---|---|---|

Q2 あなたの健康状態はいかがですか。下に該当するものがあれば○をつけて下さい。

- |                                                         |
|---------------------------------------------------------|
| 1. とても健康<br>2. ふつう<br>3. 病気もち、病気がち<br>4. 身体的に不自由なところがある |
|---------------------------------------------------------|

Q3 あなたが病気などされて、家事やご老人の世話ができなくなったとき、現在その代りをして下さる方はおられますか。あるいは現在いなくても代りの方をえるみこみがありますか。

- |                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 現在、代りしてくれる人がある<br>2. 一部分については代りをする人がある<br>3. 現在、いないが代りの方をえるみこみがある<br>4. 全然いない |
|----------------------------------------------------------------------------------|

Q4 いざというときに、ご老人がかかれる、かかりつけの医師や入院できる施設はありますか。

a. かかりつけの医師

- |      |      |
|------|------|
| 1. 有 | 2. 無 |
|------|------|

b. 入院できる施設

- |      |      |
|------|------|
| 1. 有 | 2. 無 |
|------|------|

Q5 おたくでは部屋数などが少なく、家が狭いと感じられますか。下に該当するものがあれば○をつけて下さい。また、実際ご使用になっている部屋数についても記入下さい。

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 家が狭いと思う<br>2. そうは思わない |
|--------------------------|

実際使用している部屋数  室

Q6 ~~現在、あなたは家計上苦しさを感じていますか。~~

- |                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 1. 感じている<br>2. 若干感じている<br>3. あまり感じていない<br>4. 感じていない |
|-----------------------------------------------------|

Q7 あなたは一般的にいって次のような続柄のご老人の場合、お世話しなければならぬと思いますか。a～cのそれぞれについて、該当する番号に○をつけて下さい。

a. ご老人があなたの配偶者の場合

- |                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. お世話するのは当然だと思う<br>2. お世話をするのがふつうと思う<br>3. あまりお世話しなければならぬと思わない<br>4. お世話しなければならぬと思わない |
|----------------------------------------------------------------------------------------|

b. ご老人があなたの配偶者のご両親の場合

- |                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. お世話するのは当然だと思う<br>2. お世話をするのがふつうと思う<br>3. あまりお世話しなければならぬと思わない<br>4. お世話しなければならぬと思わない |
|----------------------------------------------------------------------------------------|

c. ご老人があなたのご両親の場合

- |                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. お世話するのは当然だと思う<br>2. お世話をするのがふつうと思う<br>3. あまりお世話しなければならぬと思わない<br>4. お世話しなければならぬと思わない |
|----------------------------------------------------------------------------------------|

## 老人の介護行動に関する研究

Q8. あなたは日頃ご老人のお世話をされていて、a～bのような気持になることがありますか。□の中にあなたに該当する答えがあれば、それに○をつけて下さい。

a. 日頃、ご老人をお世話していても頼られるものがなく、自分だけが犠牲になっているように思うことがある。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. 全然ない   |

b. 私なりにくふうしたお世話をしているつもりである。これからもご老人をみとってやりたいと思う。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. いつもそう思っている | 2. ときどきそう思う |
| 3. あまりそう思わない  | 4. そう思わない   |

Q9. あなた自身の老後について不安を感じていますか。下にあなたに該当する答えがあれば○をつけて下さい。

- |                    |
|--------------------|
| 1. 老後についてはまだ考えていない |
| 2. 老後の不安は少しある      |
| 3. 不安を感じる          |

→ Q9～S Q よろしければその具体的な内容についてお教え下さい。

Q10. 日頃、あなたがご老人のお世話をしていることについてよく理解してくれる人や相談者はいますか。またそれはどなたですか。下に該当する答えがあればすべて○をつけて下さい。

- |        |    |             |              |            |          |           |
|--------|----|-------------|--------------|------------|----------|-----------|
| 1. いない | いる | 2. 配偶者      | 3. 子ども       | 4. 父母      | 5. きょうだい | 6. その他の親族 |
|        |    | 7. 近隣の人     | 8. 7以外の友人、知人 | 9. ホームヘルパー |          |           |
|        |    | 10. 保健婦・看護婦 |              |            |          |           |
|        |    | 11. その他( )  |              |            |          |           |

Q11. あなたは、ご老人のお世話をする上での看護上のくふうなどについて何かから知識をえることがありますか。また、どのようなところからえていますか。該当する答えがあればすべて○をつけて下さい。

- |                   |
|-------------------|
| 1. 別に知識をえていない     |
| 2. テレビ・ラジオ        |
| 3. 新聞・雑誌・本 など     |
| 4. 病院・診療所の看護婦・保健婦 |
| 5. 保健所・市町村の保健婦    |
| 6. ホームヘルパー        |
| 7. 近隣の人           |
| 8. 家族・親族          |
| 9. その他( )         |

老人の介護に関する意識調査 その2

記入上のお願ひ：この調査票はそれぞれの世帯の中にいるご老人（60才以上）の人数分お書き下さい。たとえば、世帯に2人の老人がいれば2票分お書き下さい。

ご老人の名前 \_\_\_\_\_ 男 生年月日 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_ お世話している者の名前 \_\_\_\_\_ 男 生年月日 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_  
(記入者)

Q1. このご老人はあなた（お世話している者）の何にあたられますか。

- |        |        |        |        |         |        |      |      |      |       |
|--------|--------|--------|--------|---------|--------|------|------|------|-------|
| 1. 夫   | 2. 妻   | 3. 父   | 4. 母   | 5. 夫の父  | 6. 夫の母 | 7. 兄 | 8. 姉 | 9. 弟 | 10. 妹 |
| 11. 祖父 | 12. 祖母 | 13. おじ | 14. おば | 15. その他 |        |      |      |      |       |

Q2. このご老人といつから同居していますか。□の中に該当する数字を入れて下さい。

- 結婚した時からずっと同居している。□年間
- はじめは別居していたが□年前より同居している。
- 結婚後同居したが、そのあと別居し、又現在同居している。  
同居期間あわせて□年間

Q3. このご老人のお子さんは何人ご健在ですか。下に該当するものがあれば○をつけて下さい。

- |           |        |       |       |       |       |       |       |       |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 1人     | 2. 2人  | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人 | 8. 8人 | 9. 9人 |
| 10. 10人以上 | 11. なし |       |       |       |       |       |       |       |

Q4. このご老人のごきょうだいは何人ご健在ですか。下に該当するものがあれば○をつけて下さい。

- |       |       |       |       |         |       |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. なし |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|

Q5. このご老人が困った時や病気の時すぐかけつけてくれる方は何人いらっしゃいますか。下に該当するものがあれば○をつけて下さい。

- |       |       |       |       |         |       |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. なし |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|

Q5～SQ まか、このご老人が困った時や病気の時すぐかけつけてくれる方について該当する数字や言葉に○を記入して下さい。

|   | 老人との続柄                          | 性別     | 年齢 | 未既婚の別          | 居住地                               | ふだんのくらすぐねてこれられますか                                      | ふだん電話の交わがありますか                                      | 手紙の往來がありますか                                      |
|---|---------------------------------|--------|----|----------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | 1. こども<br>2. きょうだい<br>3. その他( ) | 男<br>女 | 才  | 1. 未婚<br>2. 既婚 | 1. 同町内<br>2. 市内<br>3. 県内<br>4. 県外 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1度位<br>3. 月に1度位<br>4. 年に1, 2度<br>5. 時々 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1, 2度<br>3. 月に1度位<br>4. 時々<br>5. なし | 1. 週に1度又はそれ以上<br>2. 月に1度位<br>3. 年に1度位<br>4. 殆どない |
| 2 | 1. こども<br>2. きょうだい<br>3. その他( ) | 男<br>女 | 才  | 1. 未婚<br>2. 既婚 | 1. 同町内<br>2. 市内<br>3. 県内<br>4. 県外 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1度位<br>3. 月に1度位<br>4. 年に1, 2度<br>5. 時々 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1, 2度<br>3. 月に1度位<br>4. 時々<br>5. なし | 1. 週に1度又はそれ以上<br>2. 月に1度位<br>3. 年に1度位<br>4. 殆どない |
| 3 | 1. こども<br>2. きょうだい<br>3. その他( ) | 男<br>女 | 才  | 1. 未婚<br>2. 既婚 | 1. 同町内<br>2. 市内<br>3. 県内<br>4. 県外 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1度位<br>3. 月に1度位<br>4. 年に1, 2度<br>5. 時々 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1, 2度<br>3. 月に1度位<br>4. 時々<br>5. なし | 1. 週に1度又はそれ以上<br>2. 月に1度位<br>3. 年に1度位<br>4. 殆どない |
| 4 | 1. こども<br>2. きょうだい<br>3. その他( ) | 男<br>女 | 才  | 1. 未婚<br>2. 既婚 | 1. 同町内<br>2. 市内<br>3. 県内<br>4. 県外 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1度位<br>3. 月に1度位<br>4. 年に1, 2度<br>5. 時々 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1, 2度<br>3. 月に1度位<br>4. 時々<br>5. なし | 1. 週に1度又はそれ以上<br>2. 月に1度位<br>3. 年に1度位<br>4. 殆どない |
| 5 | 1. こども<br>2. きょうだい<br>3. その他( ) | 男<br>女 | 才  | 1. 未婚<br>2. 既婚 | 1. 同町内<br>2. 市内<br>3. 県内<br>4. 県外 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1度位<br>3. 月に1度位<br>4. 年に1, 2度<br>5. 時々 | 1. 殆ど毎日<br>2. 週に1, 2度<br>3. 月に1度位<br>4. 時々<br>5. なし | 1. 週に1度又はそれ以上<br>2. 月に1度位<br>3. 年に1度位<br>4. 殆どない |



老人の介護行動に関する研究

Q6. a～dのような生活についての各項目のうち、このご老人の現在の状態に該当する番号がありましたら○をつけて下さい。

a. 食 事

1. 自分で食べられる
2. 手伝ってもらい
3. 食べさせてもらい

Q6～SQ1. それはいつ頃からですか。該当するところに○や数字を記入して下さい。

1. 1カ月前
2. 2～3ヶ月前
3. 4～6カ月前
4. 1年前後
5. 2～3年前
6. 4～5年前
7. 5年以上前(      年前)

b. 用 便(昼間)

1. 自分でトイレで用便をする
2. 手伝ってもらってトイレで用便をする
3. 簡易便器を使用する
4. オムツ等を使用する

Q6～SQ2. それはいつ頃からですか。

1. 1カ月前
2. 2～3ヶ月前
3. 4～6カ月前
4. 1年前後
5. 2～3年前
6. 4～5年前
7. 5年以上前(      年前)

c. 歩 行

1. ひとりで歩く
2. つきそってもらい
3. 室内を伝い歩きする程度
4. 歩けない

Q6～SQ3. それはいつ頃からですか。

1. 1カ月前
2. 2～3ヶ月前
3. 4～6カ月前
4. 1年前後
5. 2～3年前
6. 4～5年前
7. 5年以上前(      年前)

d. 衣類の着脱

1. 自分でできる
2. どうやることができる
3. 手伝ってもらい
4. 着せてもらったり、脱がせてもらったりする

Q6～SQ4. それはいつ頃からですか。

1. 1カ月前
2. 2～3ヶ月前
3. 4～6カ月前
4. 1年前後
5. 2～3年前
6. 4～5年前
7. 5年以上前(      年前)

Q7. このご老人の身体の現在の状態はどうか。下に該当するものがありましたら、すべて○をつけて下さい。

1. 床ずれ
2. ぼけ
3. 失禁
4. 不潔行動(便いじりなど)
5. 徘徊
6. 暴力
7. 強い身体的苦痛
8. 麻痺
9. 拘縮(関節ののびちぢみか不自由)
10. 便秘気味
11. 下痢気味
12. 夜間頻尿
13. 食欲不振
14. 不眠
15. 言語障害
16. 難聴
17. 視力障害
18. その他 (                      )

Q8. このご老人は何か病気をもちますか。下に該当する答えがあれば○をつけて下さい。

1. 病気はない、とても健康
2. とくに病気はない
3. 軽い病気にかかっている
4. 重症な病気をもっている

Q9. あなたはこのご老人がとくにお世話の必要な方だと思えますか。下に該当する答えがあれば○をつけて下さい。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそうは思わない
4. そう思わない

Q 10. あなたはこの老人について適切な世話がなされていると思われますか。下に該当する答えがあれば○をつけて下さい。

1. 適切な世話がなされていると思う
2. まあ適切な世話がされていると思う
3. あまり適切な世話がされていると思われない
4. 適切な世話でないと思う
5. とくに世話をする必要がない

Q 11. このご老人については、1日どれ位の時間お世話をしておられますか。下に該当するものがありましたら○をつけて下さい。

1. 30分前後
2. 1～2時間程度
3. 3～5時間程度
4. 半日位
5. ほとんど1日中
6. 夜間も通して
7. とくに世話をしていない

Q 12. ところで、日頃このご老人をお世話していてやりがいを感じるときがありますか。下に該当する答えがあれば○をつけて下さい。

1. ある
2. あまりない
3. ない
4. とくにお世話していない

Q 13. このご老人とあなたの関係はいかがですか。下の選択肢のうち該当するものがありましたら○をつけて下さい。

1. とても良い
2. 良い
3. あまり良くない
4. 良くない

Q 14. 今後もあなたはこのご老人のお世話をづけようと思っておられますか。下に該当する答えがありましたら○をつけて下さい。

1. お世話してあげたいので、つづけるつもりである
2. お世話してあげたいが、現実的につづけるのは難しいと思う
3. お世話したくないが、しつづけるしかない
4. お世話したくないので、やめようと思う
5. とくにお世話をする必要はない